

工 事 概 要

1. 工 事 名 : 吉田支所第一庁舎空調調和其他設備改修工事

2. 工事場所 : 鹿児島市本城町169番6地

3. 工 期 : 本工事の工期は令和8年6月26日までとする。

4. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一
吉田支所第一庁舎	鉄筋コンクリート造	2階建	1,451.55 改修面積 (1,098)	(15)項

※ 建築基準法による表記・文部科学省算定床面積・その他( )

5. 棟別工事種目 (印を付けたものを適用する)

建物別及び屋外	吉田支所	第一庁舎	屋 外
空調調和(冷暖房)設備	○	一 式	一 式
換 気 設 備	○	一 式	一 式
衛 生 器 具 設 備	○	一 式	一 式
給 水 設 備	○	一 式	一 式
排 水 設 備	○	一 式	一 式
自動制御設備	○	一 式	一 式
消 火 設 備	○	一 式	一 式
ガ ス 設 備	○	一 式	一 式
給 湯 設 備	○	一 式	一 式
浄 化 槽 設 備	○	一 式	一 式
ろ 過 設 備	○	一 式	一 式
電 気 設 備	○	一 式	一 式

6. 鹿児島市建設工事請負契約書第3条に基づく部分使用 (印を付けたものを適用する)

7. 鹿児島市建設工事請負契約書第3条に基づく指定部分 (印を付けたものを適用する)

II. 一 般 事 項 (番号に○印の付いたもの及び印の付いたものを適用する)

1 本工事は、公共工事であることを十分に認識し、工事の施工に当たって必要な官公署その他への手続きは速やかにを行い、建築基準法、労働安全衛生法、建設工事公衆災害防止対策要綱及びその他関係法令を遵守し、災害及び事故の防止並びに環境の保全に努めること。

2 本工事の施工において、関係法令により資格が必要な作業については有資格者が行うこと。

3 本工事の関連工事に従事する別契約の受注者とは、関連の工程・段取り等を事前に十分協議し、相互理解の上で施工すること。

4 安全管理をはじめとする、その他の該管理に十分留意して作業を行うこと。

5 本工事の施工に当たっては、地場産業育成の観点に立ててできるだけ、市内の専門業者や労働者の活用を図ること。また、資材についても同じように市内業者からの購入に努めること。

6 元請業者は、下請業者の施工能力の向上・雇用管理・労働安全管理等の措置に関し、必要な指導、助言その他の援助を行い、両者の合理的な関係の確立に努めること。

7 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に送達なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を送付して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

8 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に送達なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

9 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に送達なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

10 建設法第26条及び同施行令第27条に規定する監理技術者については、指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けたものを選任し、その工事現場の専任とするものとする。

11 職業能力開発促進法の趣旨をふまえ、延べ面積3,000㎡を超える工事に、技能士を常駐させるものとする。

12 設計図書に明記された事項といえども、概ね、技術上必要と認められるものは監督員と協議のうえ、施工すること。

13 受注者は、工事費負担金額が500万円以上の工事に必要と認められるものは、指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けたものを選任し、その工事現場の専任とするものとする。

14 気象庁又は気象庁等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。なお、地震、大雨及び台風等が発生した場合は、直ちに工事現場の被災状況を調査し、被災の有無にかかわらずその状況を監督員に報告すること。

15 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督員に報告し、適切に対応すること。

【低入札価格調査に基づく措置】

低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。

16 施工体制の強化

(1) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。)には、専任の主任技術者を配置すること。

(2) 調査対象工事を施工する場合において、契約の属する年度及びその前年度に完了した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。

ア 65点未満の工事成績評価を通知された場合

イ 工事請負契約書に基づき修繕又は換装賠償を請求された場合

ウ 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合

エ 自ら起因して工期を大幅に遅らせた場合

17 監督体制の強化

(1) 受注者は、施工体制台帳を提出しその内容についてのヒアリングを求められた時は、これに応じなければならない。

(2) 受注者は、特記仕様書に基づき施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められた時はこれに応じなければならない。

【工事施工】

18 工事現場での通行、避難、掘削、舗装等の作業に当たっては、特に現場周辺の住民及び通行人への危険防止に万全の注意を払うとともに、昼夜間を問わず、十分なる安全対策を行い、事故の発生を期すること。また、工事現場周辺の側溝、その他の公共物を土砂やモルタル等の残材等で埋没させないよう特に注意すること。なお、埋没させた場合は、速やかに受注者の負担で復旧すること。

19 本工事の施工現場の詰め所等においては、火災責任者を定め、火災の取り扱いには十分注意すること。

20 本工事の施工に当たって、支障物件を発見し、工事の進捗に影響があると思われる場合には、速やかに監督員に連絡し、互いに協議の後、監督員の指示により処理すること。なお、軽微なものについては、これに要する費用は受注者の負担とする。

【図面に使用する材料等】

21 ホルムアルデヒドを含有する資材を使用する場合、居室内は☆☆☆☆規格、居室へホルムアルデヒドが流入する恐れのある床下及び天井裏は、☆☆☆☆規格以上にそれぞれ適合すること。ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。

※ 対象となる材料 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、保溫材、接着剤、仕上り塗料等

注. ドアガラリ等により連通した、居室への流入が見込まれるトイレ等は、居室と一体化とみなす。

22 クロロホルムを添加しないこと。クロロホルムを添加した材料でないこと。

23 塗料は、ホルマリン不検出のことで、水性系のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)ただし、有機溶剤類

[illegible]

		<p>(4) 「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について（令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知）」は鹿児島市ホームページから入手できる。</p> <p>○ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。</p> <p>○ 本工事で設置する。</p> <p>・ 構内敷きならし ・ 構内たい積 ・ 場外搬出</p> <p>場内（○ 機切り土の中の良質土 ・ 購入スラッスに置き換え） 公道（○ 機切り土の中の良質土 ・ 購入スラッスに置き換え） その他（ ）</p> <p>○「鹿児島市機械設備工事写真管理要領」及び「国土交通省大臣官房官庁業務部監修 宮城工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編（令和5年版）」による。</p> <p>・ 上記写真に加え、実績報告用写真として着工前と完成時（出来高時）を監督員へ2部提出（両面印刷）すること。</p> <p>監督員と協議のうえ、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目等を書いた亚克力樹脂製の案内板を製作し、指示する箇所に設置する。</p> <p>プラスチック板（白地）に文字を彫り込み、ナイロン製結束バンド（インシュロック）等サビにくい材質のものを取り付ける。</p> <p>下記項目の総合調整を行い、測定表を監督員に提出する。</p> <p>・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんばい測定 ・ 騒音の測定 ・ その他（ ）</p> <p>設備機器等の固定は、次に示す事項を踏まえて「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」と併用解説（令和3年版 国土交通省大臣官房官庁業務部監修）と並びに「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」による。</p> <p>設計用水平精度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設置場所</th><th colspan="8">耐震安全性の分類</th></tr> <tr> <th colspan="4">○ 特定の施設</th><th colspan="4">・ 一般の施設</th></tr> <tr> <th>重要機器</th><th>重要水槽</th><th>一般機器</th><th>一般水槽</th><th>重要機器</th><th>重要水槽</th><th>一般機器</th><th>一般水槽</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2.0 (2.0)</td><td>2.0</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>中間階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.5</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>地階及び1階</td><td>1.0 (1.0)</td><td>1.5</td><td>0.6 (1.0)</td><td>1.0</td><td>0.6 (1.0)</td><td>1.0</td><td>0.4 (0.6)</td><td>0.6</td></tr> </tbody> </table> <p>注1.（ ）書きの数値は防振支持の機器に適用する。</p> <p>2. 上層階等の定義は、標準仕様書による。</p> <p>3. 下記に示すものは重要機器、重要水槽として、下記以外のものは一般機器、一般水槽とする。</p> <p>・ 受水槽 ・ 高架水槽</p> <p>(1) 呼び径60su以上のステンレス管の継ぎ手は、下記による。</p> <p>・ 圧縮接合 ・ プレス接合 ・ フランジ接合</p> <p>(2) 呼び径75su以上のステンレス鋼管の継ぎ手は、下記による。</p> <p>・ 溶接接合 ・ フランジ接合</p> <p>(3) 排水用ポンプ圧送管における排水用ビニル管継ぎ手は、水道用硬質塩化ビニル管継ぎ手（A形）JIS K 6743 を使用する。</p> <p>14 地中埋設配管</p> <p>標準仕様書第2編によるほか下記による。</p> <p>(1) 埋め戻しは、管及び被覆樹脂を傷めぬよう良質スラッス又は山砂の類で管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。なお、公道部分の埋め戻しは、道路管理者が指定する埋戻土を使用する。</p> <p>(2) 公道部分に排水管を埋設する場合は、機切り底を管の下端より100mm程度深く機切りををし、山砂の類をやりかたにならない敷き込み、突き固めした後、管をなじみよく敷き戻す。なお、継ぎ手部分は必要に応じ増し掘りをする。</p> <p>埋め戻しは、管が移動しないよう10cmの中心線程度まで埋め戻し、十分充てんした後、所定の埋め戻しを行う。</p> <p>(3) 敷地内の埋設管は、用途別（給水管・湯水管・消火管・ガスマ管）に埋設表示テープを管上に貼り区別する。また、管を埋め戻す際に地表から約150mm～300mm程度の深さに埋設表示用の標識シートを埋設する。ただし、敷地内の排水管については、埋設表示テープ・標識シートとも不要とする。</p> <p>(4) 道路を横断して埋設する場合は、片側の工事を完了し、交通の妨げのないような措置を講じた後、片方の機切りを行う。</p> <p>(5) 道路に埋設する場合の機切りは、当日中に即時復旧が完了できる範囲とする。</p> <p>(6) 道路の即時復旧は、当日中に埋め戻し工程に連続して、表層まで復旧する。ただし、表層は仮復旧とし、本復旧は改めて行うこと。</p> <p>(7) 道路に埋設する場合は、特に交通の支障にならないよう注意し、交通頻繁な道路においては、交通整理員を配置する。</p> <p>埋設深さは下記による。（ただし、電気配管は別途監督員の指示による。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="4">埋設深さ（GLより管頂まで）</th><th>単位mm</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公道及び団地内道路</td><td>・ 600以上</td><td>・ 700以上</td><td>・ 800以上</td><td>・ 1,200以上</td><td></td></tr> <tr> <td>構内の車両通行路</td><td>・ 300以上</td><td>・ 600以上</td><td>・ 700以上</td><td>・ 1,200以上</td><td></td></tr> <tr> <td>上 記 以 外</td><td>・ 300以上</td><td>・ 600以上</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>注. 排水管は、上記埋設深さ以上にし、規定勾配で配管する。なお、管の上端より300mm未満となる場合は、コンクリート防護など必要な措置を講ずる。</p> <p>標準仕様書第2編によるほか下記による。</p> <p>(1) 屋外露出、暗渠及びビツ内に使用する吊りボルト及び支持バンドは、ステンレス製とし、その他は垂釣めつき鋼製とする。なお、冷温水管の支持バンドは、断熱支持材（合成樹脂製）を使用する。</p> <p>(2) 屋外露出、暗渠及びビツ内に使用する山形鋼及びボルト類は、ステンレス製又は溶融亜鉛めっき仕上げとし、屋内露出は、一般構造用圧延鋼材に錆止めのラジカル塗装、パイプシャフト内は、一般構造用圧延鋼材に錆止めとする。</p> <p>(3) 配管及びダクトの曲部は、標準仕様書第2編の支持間隔に係わらず支持する。</p> <p>(4) 外壁取り付けの立管は、支持間隔2m以下で固定する。</p> <p>既存コンクリート壁、壁等の配管貫通部の穴あけは、必要に応じて配筋調査等を行い、ダイヤモンドカッターを用いる。</p> <p>16 支持・固定金物</p> <p>(1) 保温箇所</p> <p>標準仕様書第2編によるほか下記による。なお、保温仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。</p> <p>・ ドレン管（ドレンバルブまで） ・ 屋外露出の弁類 ・ 膨張管 ・ エア抜き弁及び排泥弁以降1mまでの配管</p> <p>○ 空調換気用給排気ダクト（EA・OAは機器より外壁貫通部まで）</p> <p>(2) 冷媒管保温仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>材料及び施工順序</th><th>参考施工箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース</td><td>一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫</td></tr> <tr> <td>屋内隠蔽</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. ビニルテープ（1m間隔）</td><td>天井内、床下、空隙壁中 パイプシャフト内</td></tr> <tr> <td>屋外露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース 3. シーリング</td><td>屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	耐震安全性の分類								○ 特定の施設				・ 一般の施設				重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6	地階及び1階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6	区 分	埋設深さ（GLより管頂まで）				単位mm	公道及び団地内道路	・ 600以上	・ 700以上	・ 800以上	・ 1,200以上		構内の車両通行路	・ 300以上	・ 600以上	・ 700以上	・ 1,200以上		上 記 以 外	・ 300以上	・ 600以上				施工箇所	材料及び施工順序	参考施工箇所	屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース	一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫	屋内隠蔽	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. ビニルテープ（1m間隔）	天井内、床下、空隙壁中 パイプシャフト内	屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース 3. シーリング	屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）
設置場所	耐震安全性の分類																																																																																									
	○ 特定の施設				・ 一般の施設																																																																																					
	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽																																																																																		
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0																																																																																		
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6																																																																																		
地階及び1階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6																																																																																		
区 分	埋設深さ（GLより管頂まで）				単位mm																																																																																					
公道及び団地内道路	・ 600以上	・ 700以上	・ 800以上	・ 1,200以上																																																																																						
構内の車両通行路	・ 300以上	・ 600以上	・ 700以上	・ 1,200以上																																																																																						
上 記 以 外	・ 300以上	・ 600以上																																																																																								
施工箇所	材料及び施工順序	参考施工箇所																																																																																								
屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース	一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫																																																																																								
屋内隠蔽	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. ビニルテープ（1m間隔）	天井内、床下、空隙壁中 パイプシャフト内																																																																																								
屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース 3. シーリング	屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）																																																																																								
R7.4 R7.6 R7.8	令和7年度改訂版（改訂1） 令和7年度改訂版（改訂2） 令和7年度改訂版（改訂3）	<p>吉田支所第一庁舎空調その他設備改修工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記仕様書(1)</th><th>No Scale</th><th>1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">鹿児島市建設局建築設備課</td><td></td><td>全36</td></tr> </tbody> </table>	特記仕様書(1)		No Scale	1	鹿児島市建設局建築設備課			全36																																																																																
特記仕様書(1)		No Scale	1																																																																																							
鹿児島市建設局建築設備課			全36																																																																																							

● 一般共通事項

⑬ 保温（続き）

注 1. 原則として、露出配管は保温化粧ケースに電線渡り配線及び操作線を収納し天井内、パイプジャット内、床下及び暗渠内等は冷媒管保温上に共縛りとして固定する。

2. ポリスチレンフォーム保温箱は、ガス管20mm、液管10mm厚以上とする。

3. 保温化粧ケースは、耐候処置を施した塩化ビニル樹脂製で-20℃～60℃まで耐えるもの。

4. 保温化粧ケースに冷媒管を取付た場合、適当な余裕があればドレン管をケース内に収めても良い。

⑭ 屋内露出配管の施工

屋内露出配管の保温見切り箇所には菊座を、また分岐曲がり部等にはバンドを付けるものとする。なお、材質は全て冷間圧延ステンレス製とし、バンド幅は保温外径150mm以下は20mm、150mm以上は25mm、菊座は全て50mmとする。

(4) 給水管・排水管保温仕様

施工箇所	材 料 と し て の 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所
屋 内 露 出	1. ポリスチレンフォーム保温層 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂製カバー	一般居室、廊下
屋 内 隠 蔽	1. ポリスチレンフォーム保温層 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫
屋 外 隠 蔽 (ドレン管)	1. 保温チューブ巻き(ライトカバー) 2. ヒールテープ(1m間隔)	天井内、パイプシャフト 空腔壁内
床 下	1. ポリスチレンフォーム保温層 2. 粘着テープ 3. ポリスチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、明渠内、地下ピット
屋 外 露 出	1. ポリスチレンフォーム保温層 2. 粘着テープ 3. ポリスチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)

注 1. 給水管及び給湯用の配管で、保温工を施工し厚さ 5 以上の、ホスレーナー等は、ビズ管より容易に着脱できるステンレス鋼板（又は外装を施す）。

注 2. ポリスチレン保温筒の使用困難な箇所は、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯等、他の液状保温板を使用してもよい。

注 3. 別添図示等の型式がある場合はそれにによる。

製造所及び施工業者名を容易に読み取れない方法で記載した銘板を、厚付は厚表面に、厚ないは全面板の隅取りの隅に位置し取り付ける。

標準仕様書第2編によるほか下記に記す。

- (1) 図4及び屋外露出部にて塩化ビニル管（カラパイプを除く）使用時の排水管、通気管、排気管及びビル製付風品等は、塩化ビニル系エナメルに塗装する。
- (2) 鉄鋼製マンホール蓋、各種ボックスの鋼鉄製蓋、その他の鉄鋼製品は、タールエポキシ塗りとする。
- (3) 浄化槽、グリーストラップなどの鋼板製蓋は、溶融亜鉛めっきとする。
- (4) 屋根めっき鋼管、ライニング鋼管などのネジ山部分、その他サビ等の恐れのある部分は、全て高濃度亜鉛末塗料（参考品名：ローバル）でサビの防止処置をする。

標準仕様書第2編によるほか下記に記す。

(1) 給配管管圧は、試験圧力1.0MPa(10.0kg/cm<sup>2</sup>)以上とし、保持時間は60分以上とする。但し、配水管管が第1止止水栓では、鹿児島市水道局施工基準(試験圧力：サドル付管：サドル付管1.75MPa(17.5kg/cm<sup>2</sup>)、保持時間1分以上、不断水ノリ管：1.0MPa(10.0kg/cm<sup>2</sup>)、保持時間1分以上)による。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督官と協議することとする。

(2) 給湯配管管圧は、試験圧力1.75MPa(17.5kg/cm<sup>2</sup>)以上とし、保持時間は60分以上とする。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督官と協議することとする。

(3) 炉内検査は、標準仕様書に基づき（附近状況を行うことと、保持時間については2時間以上とする）  
 (4) 標準仕様書第9条及び鹿児島市機械設備工事「提出書類作成要領」に準拠する。  
 (5) 施工上の等々特約に係る当該仕様書に定める使用機器は、発注者に移譲するものとする。  
 竣工時には、国土交通大臣官庁管営庁管轄の修繕機械設備工事監理指針第1編による。竣工時中長期保全計画書（長期保全計画書）を作成する。作成方法は、監督員の指示による。  
 ヤマトサカサズカのまん延を防止するため、当該現場でのマンホールや植物等の掘り出しに当たっては、次の番号を参考に、十分注意を払うとともに、ヤマトサカサズコの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督員に報告すること。

(1) 土・樹木等の措置

イ 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。

ア 廃棄樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱可能な焼却施設で焼却処理する。

一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間焼却施設

産業廃棄物：業の許可を有している民間焼却施設

(2) 工事区域周辺部の措置

周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。

(3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置

ア 薬剤処理・蒸蒸気処理後、搬出する。

イ 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は付着土壌の除去目視除去後搬出する。

(4) 発生地区に搬入した建設機械や農・林業工作機械の措置

付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。

(5) 未発生地区での措置

発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記(3)・(4)の措置が講じられていることを確認する。

5	風量測定口	<p>取付箇所は下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示した位置</li> <li>・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト</li> <li>・ 外気取り入れダクト</li> <li>・ 空調機出口チャンパーの分岐ダクト</li> </ul>
6	チャンパー	<p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示方法は法を示す。</p> <p>(2) 風道調和機、温風暖房機に取り付けるブライザーチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。</p> <p>(3) ガラリに直接取り付けるチャンパー類は雨水の滞溜のないように施工する。</p>
7	ダンパー	<p>(1) 防煙ダンパー</p> <p>復帰方式 ( ・ 遠隔 )</p> <p>定格入力力DC24V、0.7A以下とする。</p> <p>(2) ビストンダンパー</p> <p>復帰方式 ( ・ 遠隔 )</p>

種 別	区 分	使 用 材 料
冷温水管		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</li> <li>・ 水配管用垂始めつき鋼管 SGP-W</li> </ul>
冷却水管		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</li> <li>・ 水配管用垂始めつき鋼管 SGP-W</li> </ul>
油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
蒸 気 管	給 気 管	
	運 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40</li> <li>・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</li> <li>・</li> </ul>
膨 張 管		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</li> <li>・</li> </ul>
空気抜管		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</li> </ul>
ドレン管		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 配管用炭素鋼鋼管（白）</li> <li>○ 硬質塩化ビニル管 VP</li> <li>・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP</li> </ul>
補給水管		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP</li> </ul>
冷 媒 管		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 断熱材被覆鋼管</li> </ul>

9	弁類	図面に明記なき場合は ( ・ JIS5K ・ JIS10K ) とする。
10	温度計	<p>取付部は標準仕様書によるほか以下による。なお、温度計は工業用バイメタル式温度計 (目盛板外径100φ) とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボイラの温水管 (入口側)</li> <li>・ 温風暖房機の吐出ダクト、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー</li> <li>・ 温水発生機の温水管 (出入口側)</li> <li>・ 冷凍機の冷水管 (出入口側) 及び冷却水管 (出入口側)</li> <li>・ 直置き吸冷温水機の冷水水管 (出入口側) 及び冷却水管 (出入口側)</li> <li>・ 空気調和機の冷水水管 (出入口側)</li> <li>・ 空気調和機 (パッケージ形を含む) のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー</li> <li>・ 冷温水ヘッダー (注) 及び各通り管</li> <li>・ 熱交換器の温水管 (出入口側)</li> </ul>

11	圧力計	<p>取付部は標準仕様書によるほか下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水発生機の温水管（出入口側）</li> <li>・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）</li> <li>・ 直置き吸収冷温水機の冷温水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）</li> <li>・ 空気調和機の冷温水管（出入口側）</li> <li>・ 熱交換器の温水管（出入口側）</li> </ul>
12	瞬間流量計及び 流量測定口	<p>コック付とし、取付部は標準仕様書によるほか下記による。なお、着脱型の指示部は各サイズ1個付属とする。</p> <p>取付部は標準仕様書によるほか下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水発生機の温水管（入口側）に             <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。</li> </ul> </li> <li>・ 冷凍機の冷水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に             <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。</li> </ul> </li> <li>・ 直置き吸収冷温水機の冷温水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に             <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。</li> </ul> </li> <li>・ 空気調和機の冷温水管（入口又は出口側）に             <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。</li> </ul> </li> <li>・ 冷温水ヘッダーの（ ・ 各送り管 ・ 各返り管 ）に             <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。</li> </ul> </li> </ul>

13	油面制御装置	<p>制御室には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 満油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ ）の端子を設ける。</p> <p>なお、フロートスイッチ部と制御室間の配管配線は、製造者の標準仕様とする。</p>
14	保温及び消音内貼り	<p>標準仕様書第2編によるほか、下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送りダクトの保温（保温の厚さ25mm、範囲は空調室及び空調室天井内を除く）</li> <li>・ 外気ダクトの保温（保温の厚さ25mm、図示及び下記範囲の保温を行う） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調室の室内及び天井内</li> <li>・ 電気室</li> <li>・ 発電機室</li> <li>・ 多湿箇所室内及び天井内</li> <li>・ エレベーター機械室</li> </ul> </li> <li>・ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管及び建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。</li> <li>・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編の3.1.5の排水管の項による。</li> <li>・ 消音内貼りの施工範囲は図示したダクト及びチャンパー類とする。</li> </ul>

⑬	たわみ継手	使用箇所は下記による。 ・ 図示の箇所 ・ ユニート形空調機と機ダクト接続部（機内防振機構を除く） ・ 給排気ファンのダクト接続部
⑭	機器の据付	パッキン・ジョイント及びビルームクーラー等の室外機は、防振ゴムパット（厚さ15mm以上）の上面に、ステンレス製アンカーボルトにて固定する。
⑮	機器の塗装	室外機塗装（○標準塗装 ・ 耐塩害仕様 ・ 耐重塩害仕様 ・ その他） 塗装仕様については、製造者の仕様とする。
⑯	試運転調整等	施工完了時に所定の試運転調整を行うことを原則とするが、完成後1年間は、冷房及び暖房時期に入る直前にも、各試運転調整を行うと共に、関係者に対し取り扱い説明を受注者の負担において行う。 また、施工完了時に行った試運転調整は、機器等の運転状態の記録表及び測定結果をまとめた測定表を作成し、速やかに提出する。 測定表には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付す

<p>⑬ 冷媒ガスの処理</p>	<p>る。</p> <p>(1) フルオロカーボン（フロン）を使用している機器を撤去する場合は、事前にガスの回収を行うこと。</p> <p>(2) 回収したガスは、全て破壊処理するものとする。</p> <p>(3) 回収フロン破壊証明書を出すこと。</p> <p>(4) 回収及び破壊処理については、フロン排出抑制法に従い、「フロン回収行程管理票」を使用してフロン回収行程の適正な管理を行うこと。</p> <p>(5) 「フロン回収行程管理票」を含む、冷媒ガスの処理に係わる費用は全て受注者の負担とする。</p>
<p>20 予備品等</p>	<p>標準仕様書によるほか下記の予備品を備える。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>

○衛生器具設備

1	器具及び付属品	<p>(1) 大・小・便器用標記板は、陶製板（原則として衛生器具と同色）とし、小学校児童トイレ及び幼児用トイレに使用するものは、標記文字をひらがな又はかなで標記したものとす。</p> <p>(2) 参考品番の指定があるものの紙巻器は、市営住宅に使用するものと及び優先トイレに使用するものを除き、ステンレス鋼板製フロンタ形とする。</p>
2	器具の取付け高さ	<p>器具の取付けが高さは下記による。ただし、鹿児島県福祉環境整備指針に規定されている器具及びトイレ目地合わせ等仕様上必要な場合は変更しても良いこととする。</p>

器具名称	取付け高さ		単位mm	備	考
	一般	小学校			
壁掛小便器	530	350	幼児		
洗面器	750	650	550		
手洗器	760	700	500	床面より前縁上端まで	
実験流し	850	700			
料理流し	820	700			
化粧鏡	1,500	1,400	1,100	床面より鏡中心まで	
化粧棚	100	100		鏡下端より棚上端まで	
水栓流し	300	300	200	流し床より吐水口まで	
浴槽				前縁上端より吐水口まで	
浴室洗い場	150			流し床面より吐水口まで	

注1. 学校の乾式床の和風便器は、便器リムと床仕上面を同一面とする。  
(学校以外の施設、湿式床の場合は監督員と協議すること。)

注2. 中学校及び高校は、一般寸法とする。ただし、中学校理科室に取り付ける実験流しは、小学校寸法とする。

○給水設備

1 配管材料	区 分	使 用 材 料
	給 水 引 込 管 (メーター迄)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道用ポリエチレン管 (2層管1種)</li> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> <li>・</li> </ul>
	屋 外 埋 設 (メーター以降)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP</li> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> <li>・</li> </ul>
	屋 内 一 般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB</li> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> <li>・</li> </ul>
	土 間 (地 中) コンクリート内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> <li>・</li> </ul>
	ピ ッ ト 内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB</li> <li>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> <li>・</li> </ul>

2	水栓	<p>注 図示なき給水管の最小口径は、呼び径20mmとする。</p> <p>(1) 水栓は、JIS B 2061 (洗面水栓) によものであるが、通用水栓は全て陶器製ハンドルとする。なお、通用水栓と併用して取り付けられる水栓についても体裁上必要と思われるものは、陶器製ハンドルを用い、通・水の区別を示すとする。</p> <p>(2) シングルレバー式の水栓は、レバーを上げたとき吐水し、下げたとき止水する構造の、下止め方式とする。</p> <p>(3) 連合流しに使用する水栓 (市営住宅を除く) 及び監督員の指示した水栓は、節水コマ組み込み型とする。</p>
---	----	--

3	水道メーター	親メーター（ ・ 貸与品（取付本工事） ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品（取付本工事） ・ 自己財 ）
4	メーターボックス	呼び径25mm以下は、ボール式伸縮止水栓及び逆止弁と併用ボックスとする。 なお、形状、寸法及び50mm以上のボックスについては、鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。

5	弁類	図面に明記なき場合は下記による。 水道直結部分（・ JIS10K ・ ） ポンプ圧送部（・ JIS10K ・ JIS5K ） その他の部分（・ JIS10K ・ JIS5K ）
6	弁ボックス	ハンドル式弁のボックスは、コンクリート製角形とし、キャップ式弁（水道用仕切弁）のボックスはコンクリート製丸形とする。なお、形状、寸法その他は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。
7	タンク	タンクには、排水管、給水管、排水管、オーバーフロー管、通気管等の接続口及び電極等の取付座（カバー付）を設け、次の付属品を備える。 (1) マンホール（600φ旋設付、降灰対策用内蓋付） (2) はしご ① FRP製タンク タンク内は合成樹脂製、タンク外は鋼製（溶融亜鉛めっき仕上2種35）又はステンレス鋼製 ② ステンレス鋼板製タンク タンク内は合成樹脂製又はステンレス鋼製 SUS329J4L、タンク外は鋼製（溶融亜鉛めっき仕上2種35）又はステンレス鋼製 (3) 防虫網 通気管及びオーバーフロー管には、合成樹脂製又はステンレス製の防虫網を取付ける。なお、飲料水以外（汚水タンクを除く）の全てのタンクについても上記の管には防虫網を取付ける。
8	給水負担金	水道事業者への納入手続きを行うこと。 ただし給水負担金は、（ ・ 本工事に含む ・ 別途 ）

○排水設備

配管材料		区 分	使 用 材 料
2 洗面器等の排水管 3 樹類		屋 内 ・ 汚 水 管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ・ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・
		屋 内 ・ 雑排水管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ・ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管
		屋 内 ・ 通 気 管	・ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・
		屋 外 ・ 第 1 樹迄	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ・ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ・ VU ) ・
		屋 外 ・ 樹 間	・ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ・ VU ) ・

洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。

樹等の形状、寸法等は鹿児島市機械設備工事業「標準施工要領」による。

なお、樹のコンクリート部は工場製品としてもよい。

### ○自動制御設備

● 空氣調和（冷暖房）・換氣設備

① 設計用温湿度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th colspan="2">室内条件</th><th colspan="8">屋外条件</th></tr> <tr> <th></th><th>温度(℃)</th><th>湿度(RH) [%]</th><th colspan="4">温度(℃)</th><th colspan="4">湿度(RH) [%]</th></tr> <tr> <th></th><th></th><th></th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td><td>26.0</td><td>50</td><td>31.4</td><td>34.0</td><td>34.7</td><td>34.1</td><td>73.5</td><td>63.9</td><td>60.7</td><td>62.8</td></tr> <tr> <td>冬期</td><td>22.0</td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td>3.4</td><td></td><td></td><td></td><td>65.9</td></tr> </tbody> </table> <p>鋼板厚（ ・ 3.2mm ・ 4.5mm ）</p> <p>○ 低圧ダクト（ ・ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ・ コーナボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ・ 高圧1ダクト（適用範囲は図示による） ・ その他のダクト（ ・ VU ・ VP ）</p> <p>一般空調用機器、換気扇はアルミ製、レンジフード等火を使用する場所は鉄製、浴室等湿気のある場所は樹脂製と使用範囲は、最小限とする。</p>		室内条件		屋外条件									温度(℃)	湿度(RH) [%]	温度(℃)				湿度(RH) [%]							9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時	夏期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	63.9	60.7	62.8	冬期	22.0	40				3.4				65.9
	室内条件		屋外条件																																																					
	温度(℃)	湿度(RH) [%]	温度(℃)				湿度(RH) [%]																																																	
			9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時																																														
夏期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	63.9	60.7	62.8																																														
冬期	22.0	40				3.4				65.9																																														
② 煙道																																																								
③ ダクト																																																								
④ 接続フレキ																																																								

○ 消火設備	1 配管材料	種 別	区 分	使 用 材 料		
		屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W		
			地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS ・		
		屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W		
			地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS ・		
		スプリンクラー 消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W		
			ポンプ～ 制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40		
				地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS ・	
連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40				
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS ・				
2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事		・ 別途 ）			
	小型消火器（ ・ 本工事		・ 別途 ）			

○ガス設備

○ガス設備	1 ガス種別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.04655MJ/m<sup>3</sup>））</li> <li>・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス）</li> </ul>
	2 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記以外の液化石油ガス</li> <li>・ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合で、図示なき部分の配管材はガス事業者給定による。</li> <li>・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用の場合は下記による。</li> </ul>

区 分	使 用 材 料
屋内一般 (露出を除く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配管用炭素鋼管(白)</li> <li>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(被覆ねじ込み継手)</li> </ul>
屋内露出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(被覆ねじ込み継手)</li> <li>・ ポリエチレン外面被覆鋼管(被覆メカニカル継手)</li> </ul>
地中埋設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(被覆ねじ込み継手)</li> <li>・ ポリエチレン外面被覆鋼管(被覆メカニカル継手)</li> </ul>

3 充てん容器	別途 ( ・ 20kg ・ 50kg )
4 集合装置	標準国による。 ( 本組 )
5 転倒防止等	標準国の ( ・ (a) ・ (b) ) による。
6 ガスメーター	観メーター ( ・ 貸作品 ・ 自己財 ) 子メーター ( ・ 貸作品 ・ 自己財 )
7 ガス漏れ警報機	・ 本工事      ・ 別途工事
8 漏洩検知装置	・ 本工事      ・ 別途工事

○給湯設備

区 分	使 用 材 料
屋 内 一 般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA</li> <li>・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448</li> <li>・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下）</li> <li>・ 鋼管（ M L ）</li> <li>・</li> </ul>
地 中 埋 設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP</li> </ul>

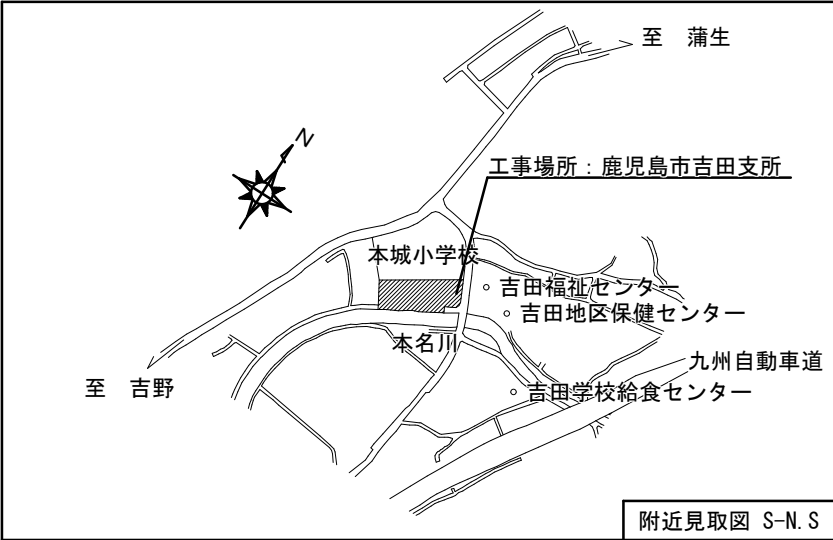
2 弁類	図面に明記なき場合は ( ・ JIS10K ・ JIS5K )
------	---------------------------------

○淨化槽設備

浄 化 槽 設 備	1	届出手続き等	<p>浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導所 に定める関連図書を送付し、届出を代行すること。</p> <p>鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を かに監督員に報告すること。</p>
	2	中間立会い検査等	<p>下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工 こと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受け</li> <li>・ 配 筋：配筋終了後、片側仮枠の状態で立会い検査を受ける。</li> <li>・ コンクリート打設：コンクリート打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作 承諾を受ける。</li> <li>・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の 及び据付け状態の立会い検査を受ける。</li> <li>・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調 は立会い検査を受ける。</li> </ul>
	3	取扱い説明等	<p>試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理土 関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。</p> <p>なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要 費用を負担する。</p>
	4	付属品等	<p>標準仕様書によるほか、下記品目を備える。</p> <p>・ マンホール引手 1組      ・ 消毒薬剤 1式（1回投入分）</p>
	5	送風機	<p>原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなも 騒音対策を行う。</p>
	6	点検口蓋	<p>図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準 とする。</p> <p>(1) 防 臭 蓋：鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製バルブ固定式とする。</p> <p>(2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鋼鋼板に溶融亜鉛めっきを施したものと又はステン （SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1人で開閉 重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製バルブ固定式とする。</p>
	7	ユニット形浄化槽	<p>(1) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の特認シート 関連図書を提出し、監督員の承諾を得ること。</p> <p>(2) 図示の機種寸法は参考寸法とする。</p> <p>(3) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等に て、十分に打ち合わせを行うこと。</p> <p>使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要が た場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。</p>
	8	支持金物等	<p>槽内の支持金物及びバルブ・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。</p>

吉田支所第一庁舎空調和其他設備改修工事		
特記仕様書(2)	No Scale	2
鹿児島市建設局建築部設備課		全36





工事概要

本工事は、鹿児島市吉田支所の冷暖房・換気設備の改修工事である。

1. 新設工事

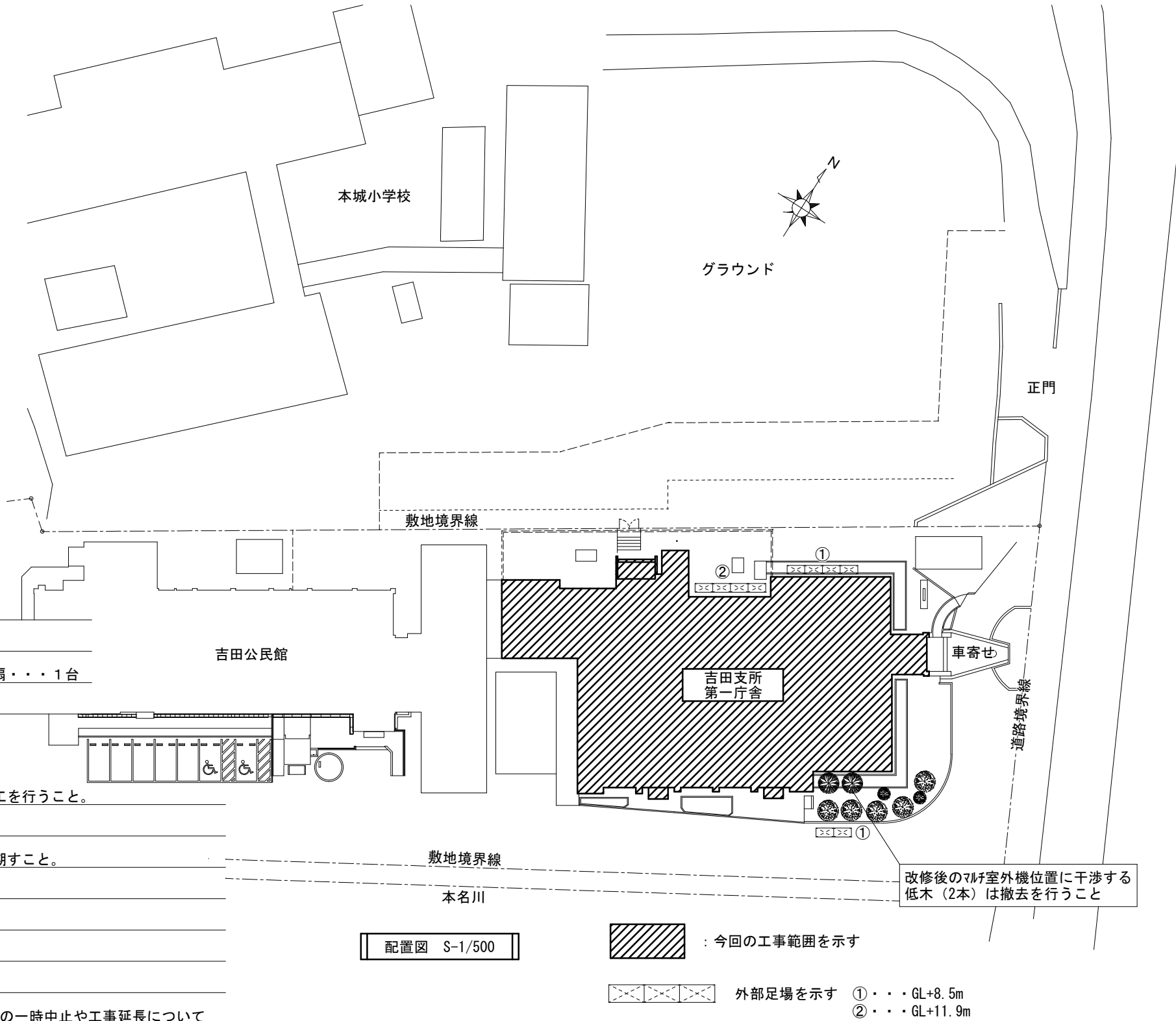
- 1) 1階：マルチエアコン系統・・・1セット(6部屋)、パッケージエアコン・・・2部屋  
全熱交換器・・・7部屋、一般換気・・・3部屋
- 2) 2階：マルチエアコン系統・・・1セット(3部屋)、パッケージエアコン・・・3部屋、ルームエアコン・・・1部屋  
全熱交換器・・・10部屋、一般換気・・・4部屋
- 3) PH階：パッケージエアコン・・・1部屋、全熱交換器・・・1台  
※1～PH階の室外機は全て地上設置とする。
- 4) 2階総務市民課(1)に集中リモコン(親)を設置し、今回整備分の空調機を集中制御する。  
※集中リモコン(子)を1階宿直室に設置する。

2. 撤去工事

- 1) 1階：マルチエアコン系統・・・3セット(5部屋)、パッケージエアコン・・・3部屋、天井扇・・・1台
- 2) 2階：マルチエアコン系統・・・1セット(1部屋)、パッケージエアコン・・・5部屋、ルームエアコン・・・2部屋、天井扇・・・1台
- 3) PH階：パッケージエアコン・・・1部屋

特記事項

- 施工にあたっては、近隣住民の日常生活に支障をきたさぬ様に施工計画を行い、監督員と協議のうえ施工を行うこと。  
特に下記事項には、留意すること。
  - 工事現場において、施設利用者への安全対策は、受注者が十分な誠意を持って行い、事故防止に万全を期すこと。
  - 工事に際しては施設管理者と入念な打ち合わせを行い、施設運営に支障のないようにすること。
  - 作業時間、駐車場の確保等についても十分に打ち合わせを行うこと。
  - 工事着手前に既存設備を十分に調査し、既存設備に支障を及ぼさない様に注意して施工を行うこと。
  - 高所作業の際は、必ず墜落静止用器具を着用し、安全対策を十分に行うこと。
  - 機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により、工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工事延長について発注者と協議すること。なお、工事を全面的に一時中断している期間は監理技術者等の専任を要しない期間とする。
  - 万一、既設物に損傷を与えた場合は、速やかに監督員へ報告し、対応を協議すること。
  - その他、工事に支障となる機器、他設備の配管配線等については、協議を行うこと。
  - 空調室外機搬出計画書を提出すること。














配置図 S-1/500

今回の工事範囲を示す

外部足場を示す ①・・・GL+8.5m ②・・・GL+11.9m

有限会社 アムーン 一級建築士 第64440号 前之園 与市	吉田支所第一庁舎空調和其他設備改修工事		
	付近見取図、配置図	1/500 (A3)	04 全 36
	鹿児島市建設局建築部設備課		

空調機器表（１）

記 号	名 称	仕 様	電 源	消費電力(以下)	数 量	階	設置場所	備 考
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室外機 標準仕様	3φ200V		1	1	地上	1階系統
	22 HP	冷房能力：61.5 kW (JIS条件能力)		20.9 kW				防振ゴム
		暖房能力：69.0 kW (JIS条件能力)		23.2 kW				
		圧縮機出力：20.5 kW以下 APF 5.0 以上						
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井カセット形2方向	1φ200V		1	1	市民ロビー	化粧パネル
		冷房能力：8.0 kW (JIS条件能力)		0.09 kW				ワイヤードリモコン×1個
		暖房能力：9.0 kW (JIS条件能力)		0.09 kW				防振吊金具
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井カセット形4方向	1φ200V		3	1	総務市民課市民係	化粧パネル
		冷房能力：5.6 kW (JIS条件能力)		0.05 kW				ワイヤードリモコン×1個
		暖房能力：6.3 kW (JIS条件能力)		0.05 kW				防振吊金具
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井カセット形2方向	1φ200V		2	1	吉田税務課	化粧パネル
		冷房能力：5.6 kW (JIS条件能力)		0.06 kW				ワイヤードリモコン×1個
		暖房能力：6.3 kW (JIS条件能力)		0.05 kW				防振吊金具
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井カセット形2方向	1φ200V		1	1	相談室・授乳室	冷媒漏洩遮断弁
		冷房能力：5.6 kW (JIS条件能力)		0.06 kW				冷媒漏洩検知器(※)
		暖房能力：6.3 kW (JIS条件能力)		0.05 kW				化粧パネル
								ワイヤードリモコン×1個
								防振吊金具
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井カセット形2方向	1φ200V		3	1	吉田保健福祉課	化粧パネル
		冷房能力：4.5 kW (JIS条件能力)		0.05 kW				ワイヤードリモコン×1個
		暖房能力：5.0 kW (JIS条件能力)		0.04 kW				防振吊金具
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井カセット形2方向	1φ200V		2	1	ホール	化粧パネル
		冷房能力：2.2 kW (JIS条件能力)		0.04 kW				ワイヤードリモコン×1個
		暖房能力：2.5 kW (JIS条件能力)		0.03 kW				防振吊金具
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室外機 標準仕様	3φ200V		1	1	地上	2階系統
	18 HP	冷房能力：50.0 kW (JIS条件能力)		17.2 kW				防振ゴム
		暖房能力：56.0 kW (JIS条件能力)		18.3 kW				
		圧縮機出力：16.1 kW以下 APF 5.4 以上						
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井ビルトイン形	1φ200V		2	2	吉田建設事務所	吸込パネル
		冷房能力：11.2 kW (JIS条件能力)		0.27 kW			農業委員会吉田支所	ワイヤードリモコン×1個
		暖房能力：12.5 kW (JIS条件能力)		0.27 kW			吉田農林事務所	吹出口キット(φ200×4口)
								キャンバスダクト、防振吊金具
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井カセット形4方向	1φ200V		2	2	総務市民課（１）	化粧パネル
		冷房能力：8.0 kW (JIS条件能力)		0.09 kW				ワイヤードリモコン×1個
		暖房能力：9.0 kW (JIS条件能力)		0.09 kW				防振吊金具
	空冷ヒートポンプ式マルチエアコン	室内機 天井カセット形4方向	1φ200V		2	2	総務市民課（２）	化粧パネル
		冷房能力：5.6 kW (JIS条件能力)		0.05 kW				ワイヤードリモコン×1個
		暖房能力：6.3 kW (JIS条件能力)		0.05 kW				防振吊金具

注記 1) パッケージ型マルチエアコンはグリーン購入法及び省エネ法(トップランナー基準)に適合した機器を選定すること。

2) パッケージ型マルチエアコンの電気容量は記載値以下の機種を選定すること。また、冷媒ガス種はR32とする。

3) 本工事の機種選定により他工事(電気工事等)の施工に増額が生じた場合は、本工事受注者の負担により施工すること。

なお、電気工事の配線等の施工は有資格者により施工すること。

4) 冷暖房能力及び消費電力は JIS B 8616:2015 で規定された定格条件による。

(※) 冷媒漏洩検知器については、室内機内蔵または別途設置とする。  
尚、設置については各メーカーの仕様に則り、本工事受注者の負担により施工すること。

有限会社 アムーン 一級建築士 第64440号 前之園 与市	吉田支所第一庁舎空気調和其他設備改修工事		
	空調機器表（１）	No. Scale (A3)	05 全 36
	鹿児島市建設局建築部設備課		



空調機器表（2）

記 号	名 称	仕 様	電 源	消費電力(以下)	数 量	階	設置場所	備 考
<div>ACP</div> <div>1</div>	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	天井カセット4方向形 標準仕様	3φ200V		1	2	男子休憩室	防振ゴム、化粧パネル
		冷房能力：12.5 kW (JIS条件能力)		3.19 kW				ワイヤードリモコン
		暖房能力：14.0 kW (JIS条件能力)		3.28 kW				防振吊金具
		圧縮機出力：2.8 kW以下 APF 6.1 以上						
<div>ACP</div> <div>2</div>	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	天井カセット4方向形 標準仕様	3φ200V		1	1	中会議室	防振ゴム、化粧パネル
		冷房能力：10.0 kW (JIS条件能力)		2.22 kW				ワイヤードリモコン
		暖房能力：11.2 kW (JIS条件能力)		2.41 kW				防振吊金具
		圧縮機出力：2.1 kW以下 APF 6.5 以上						室外機風向ガイド
<div>ACP</div> <div>3</div>	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	天井カセット2方向形 標準仕様	3φ200V		1	2	行政資料室	防振ゴム、化粧パネル
		冷房能力：10.0 kW (JIS条件能力)		2.89 kW				ワイヤードリモコン
		暖房能力：11.2 kW (JIS条件能力)		2.80 kW				防振吊金具
		圧縮機出力：2.1 kW以下 APF 5.2 以上						
<div>ACP</div> <div>4</div>	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	天井カセット1方向形 標準仕様	3φ200V		1	PH	女子休憩室	防振ゴム、化粧パネル
		冷房能力：7.1 kW (JIS条件能力)		2.09 kW				ワイヤードリモコン
		暖房能力：8.0 kW (JIS条件能力)		2.45 kW				防振吊金具
		圧縮機出力：1.6 kW以下 APF 5.0 以上						
<div>ACP</div> <div>5</div>	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	天井カセット4方向形 標準仕様	3φ200V		1	2	電算室	防振ゴム、化粧パネル
		冷房能力：5.6 kW (JIS条件能力)		1.28 kW				ワイヤードリモコン
		暖房能力：6.3 kW (JIS条件能力)		1.34 kW				防振吊金具
		圧縮機出力：1.2 kW以下 APF 6.9 以上						
<div>ACP</div> <div>6</div>	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	天井カセット1方向形 標準仕様	3φ200V		1	1	税務課書庫	防振ゴム、化粧パネル
		冷房能力：4.5 kW (JIS条件能力)		1.20 kW				ワイヤードリモコン
		暖房能力：5.0 kW (JIS条件能力)		1.25 kW				防振吊金具
		圧縮機出力：0.9 kW以下 APF 5.1 以上						
<div>ACR</div> <div>1</div>	ルームエアコン	壁掛形 標準仕様	1φ100V		1	2	応接室	防振ゴム
		冷房能力：2.2 kW (JIS条件能力)		0.43 kW				ワイヤレスリモコン
		暖房能力：2.5 kW (JIS条件能力)		0.47 kW				集中リモコン対応アダプター
		圧縮機出力：0.6 kW以下 APF 6.7 以上						
<div>Ⓡ</div>	個別リモコン	空調機用				14	図示による	
<div>Ⓡ</div>	個別リモコン（冷媒漏洩警報器付き）	空調機用				1	相談室・授乳室	
<div>SRC</div>	集中リモコン	液晶タイプ				1	総務市民課（1）	
		（制御内容）1）一括／個別の運転、停止						
		2）各グループのリモコン運転制御（手元リモコン操作許可／禁止設定）						
		3）各グループの温度設定						
		4）各グループの運転モードコントロール（冷房／暖房）						
<div>src</div>	ON／OFFリモコン					1	宿直室	

注記 1) パッケージエアコン及びルームエアコンはグリーン購入法及び省エネ法（トップランナー基準）に適合した機器を選定すること。

2) パッケージエアコンおよびルームエアコンの電気容量は記載値以下の機種を選定すること。

3) 本工事の機種選定により他工事（電気工事等）の施工に増額が生じた場合は、本工事受注者の負担により施工すること。

なお、電気工事の配線等の施工は有資格者により施工すること。

4) パッケージエアコンの能力・消費電力はJIS B 8616、ルームエアコンの能力・消費電力はJIS C 9612で規定された定格条件による。

換 気 機 器 表

記 号	名 称	仕 様	電 源	消費電力 (W)	騒音 [dB]	台数	階	設置部屋	備 考
<div>HEX 1</div>	全熱交換器	天井埋込カセット形／マイコンタイプ	1φ100V	249.0	37.5	2	2	大会議室	
		500m3/h × 100Pa × 200φ							
		インテリアパネル、防振吊金具共							
<div>HEX 2</div>	全熱交換器	天井埋込カセット形／マイコンタイプ	1φ100V	185.0	34.5	10	1	総務市民課市民係	
		350m3/h × 100Pa × 150φ					1	吉田保健福祉課	
		インテリアパネル、防振吊金具共					1	中会議室	
							2	総務市民課(1),(2)	
							2	応接室	
<div>HEX 3</div>	全熱交換器	天井埋込カセット形／マイコンタイプ	1φ100V	128.0	33.5	2	2	男子休憩室	
		250m3/h × 70Pa × 150φ					PH	女子休憩室	
		インテリアパネル、防振吊金具共							
<div>HEX 4</div>	全熱交換器	天井埋込カセット形／マイコンタイプ	1φ100V	80.0	30.5	4	1	市民ロビー	
		150m3/h × 70Pa × 100φ					1	吉田税務課	
		インテリアパネル、防振吊金具共					2	支所長室	
							2	行政資料室	
<div>HEX 5</div>	全熱交換器	天井埋込形	1φ100V	44.0	38.0	4	1	税務課書庫	
		60m3/h × 50Pa × 100φ					1	宿直室	
							2	電算室	
							2	無線室	
<div>R</div>	個別リモコン	全熱交換機用				14		図示による	
<div>R'</div>	個別リモコン	全熱交換機用				4		図示による	
<div>EF 1</div>	天井換気扇	天井埋込形／低騒音形	1φ100V	15.5	28.5	3	1	湯沸室・膳写室	
		100φ × 110m3/h × 30Pa					2	書庫	
							2	湯沸室・膳写室	
<div>EF 2</div>	天井換気扇	天井埋込形／低騒音形	1φ100V	15.5	28.5	2	1	女子更衣室	
		100φ × 110m3/h × 20Pa					2	女子更衣室	
<div>EF 3</div>	天井換気扇	天井埋込形／低騒音形	1φ100V	9.3	22.0	1	1	湯沸室(宿直室内)	
		100φ × 60m3/h × 10Pa							
<div>EF 4</div>	パイプ用ファン	角型格子タイプ	1φ100V	6.4	36.0	1	2	電話交換室	
		100φ × 110m3/h × 15Pa							
<div>OA 1</div>	給気グリル	ダクト接続φ100 天井面				5	1	湯沸室(宿直室内)	
		ネットフィルター・風量調整機構付					1	女子更衣室	
							2	書庫	
							2	電話交換室	
							2	女子更衣室	
	深型フード	ステンレス製φ200 がり付				4			
	深型フード	ステンレス製φ150 がり付				24			
	深型フード	ステンレス製φ100 がり付				28			

有限会社 アムーン  
一級建築士 第64440号  
前之園 与市

吉田支所第一庁舎空気調和其他設備改修工事

換気機器表

No. Scale  
(A3)

鹿児島市建設局建築部設備課

07  
全 36

冷媒配管施工要領：屋内隠蔽

断熱材被覆銅管保温筒  
ポリエチレンフォーム保温筒2種 (PE-C-P2)

テープ 巻き@ 1, 0 0 0

電源線・操作線 (EM-EEF 2.0-3C) (1C:E)

※ 吊り間隔は液管9.5mm以下は1.5m以下、  
12.7mm以上は2.0m以下とする。  
※ 配管支持間隔前後10cmはテープ巻き1. 液管 耐熱温度 120℃  
2. ガス管 耐熱温度 120℃

冷媒配管施工要領：屋外露出

室内外連絡配線

保温化粧ケース（丸）

アース線

液管＋耐熱保温材

集中制御線  
EM-CEES1.25-2C

ガス管＋耐熱保温材

※ACP-2、ACP-4、ACP-5、ACP-6、ACR-1については、保温化粧  
ケース内にドレン管を収めること。

室外機基礎（MAC-1、MAC-2用）要領図

MAC 1

MAC 2

防振ゴムt=15

コンクリート：FC21

▽地盤

50

100

200

捨てコン：FC18

再生砕石

スラブ配筋：D10@200

つなぎ筋

差筋アンカーD10@500  
建物外壁より

室外機用フェンス施工要領図

室外機

メッシュフェンス

室外機用基礎  
サイズは平面図参照

フェンス用基礎  
180\*180\*450

1,200

全ネジボルト×状・放射状の据付方法

斜材取付用部材

防振装置

ダブルナット

天井カセット形室内機

天井面

機器吊下用部材

吊り長さ

45±15度

①

②

③

吊り長さが250mm以上の場合は、斜材による耐震支持をとること。  
① + ② が250mm以内になる様、斜材を設定すること。  
※斜材の取付角度がとれない等の場合は監督員と協議すること。

リモコン配管施工要領図

（カセット形空調機等）

コーナーボックス

メタルモール

スイッチボックス

取付高さはH=FL+1.5mを標準とする

壁内に既設配管があり、更新後も  
同位置に付ける場合は、再利用してよい

1. 本工事における他工事との工事区分は下記の通りとする。

工 事 内 容	機 械 設 備	電 気 設 備	備 考
室外機用コンクリート基礎工事	○		
室外機電源工事		○	
室内機電源工事（室外機～室内機）	○		
アース工事（二次側のみ）	○		
室内外機間制御配線工事	○		
集中リモコン取付及び配線工事	○		
集中リモコン電源		○	
リモコン本体及び取付	○		
天井点検口	○		450角/開口補強共
外部足場	○		手すり先行式
空調換気扇用電源		○	
換気扇用電源		○	
感知器移設		○	

※本工事に係る電気工事は有資格者による施工とすること。

2. 凡 例

名 称	記 号	種 類	備 考
冷 媒 管	—— R ——	C U P	液管10mm ガス管20mm
ドレン管	—— D ——	VP (屋内)/SGP (屋外)	屋外露出は塗装のこと
室内外連絡配線		EM-EEF-2.0mm-2C EM-EEF-2.0mm-3C	マルチエアコン パッケージエアコン
アース線		EM-1E1.6mm	
集中制御配線	—— // ——	EM-CEES1.25mm2-2C	SRC廻り：E P 管（25）
集中リモコン	[SRC]		メーカー品 タッチパネルリモコン

3. 保温・防露仕様

名 称	屋内隠蔽	屋内露出	屋外露出	備 考
冷 媒 管	テープ巻（1m毎）	保温化粧ケース	保温化粧ケース	屋外露出は丸型使用のこと
ド レ ン 管	保温チューブ	——	調合ペイント2回塗	
スパイラルダクト	保温無し	カラー亜鉛鉄板	——	H E X 機種の場合は排気は外壁貫通部まで保温

有限会社 アムーン  
一級建築士 第64440号  
前之園 与市

吉田支所第一庁舎空調和其他設備改修工事

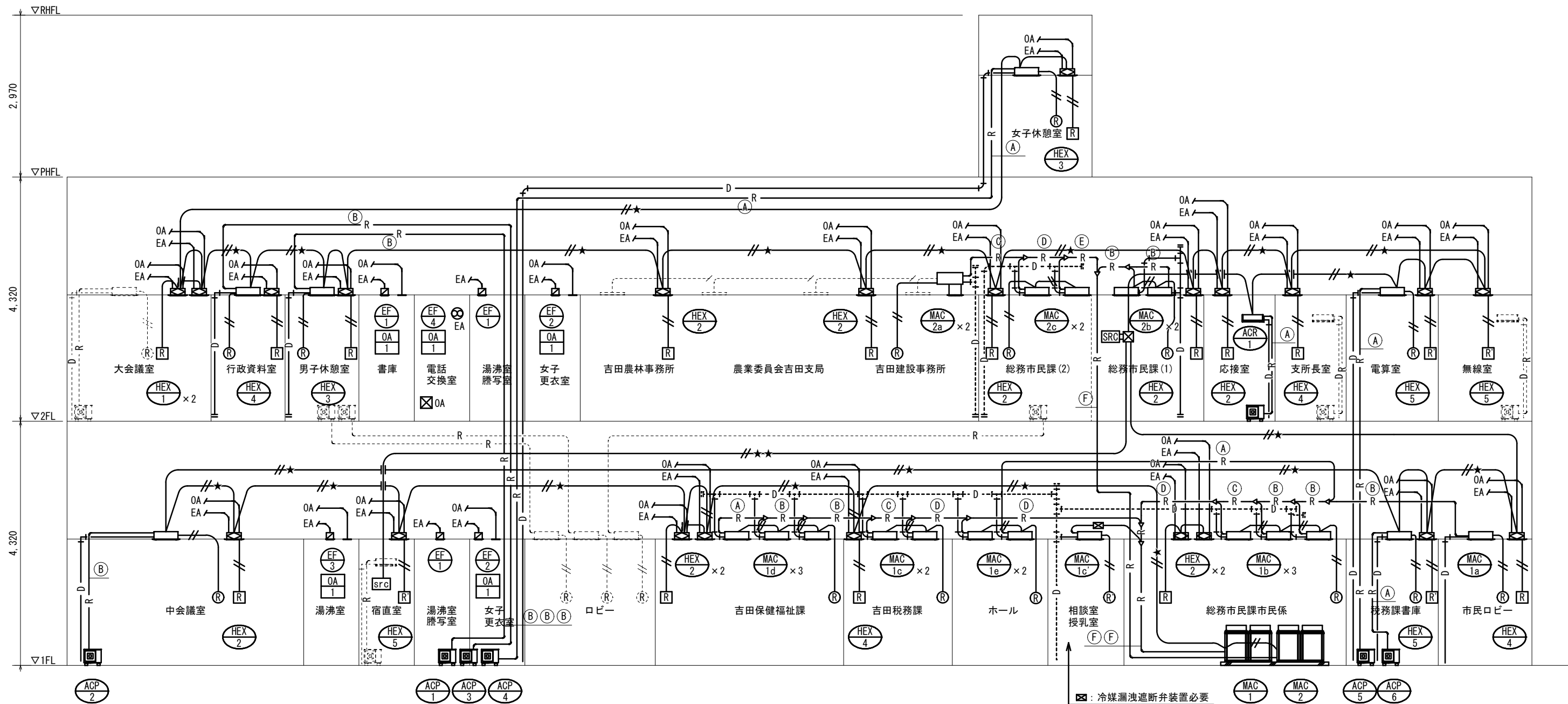
施工要領図

No. Scale  
(A3)

鹿児島市建設局建築部設備課

08  
全 36





空調系統図（改修後） S-No. Scale

冷媒凡例 液/ガス(保温厚)

(A)	6.4(10)/12.7(20)
(B)	9.5(10)/15.9(20)
(C)	9.5(10)/19.1(20)
(D)	9.5(10)/22.2(20)
(E)	12.7(10)/22.2(20)
(F)	12.7(10)/25.4(20)

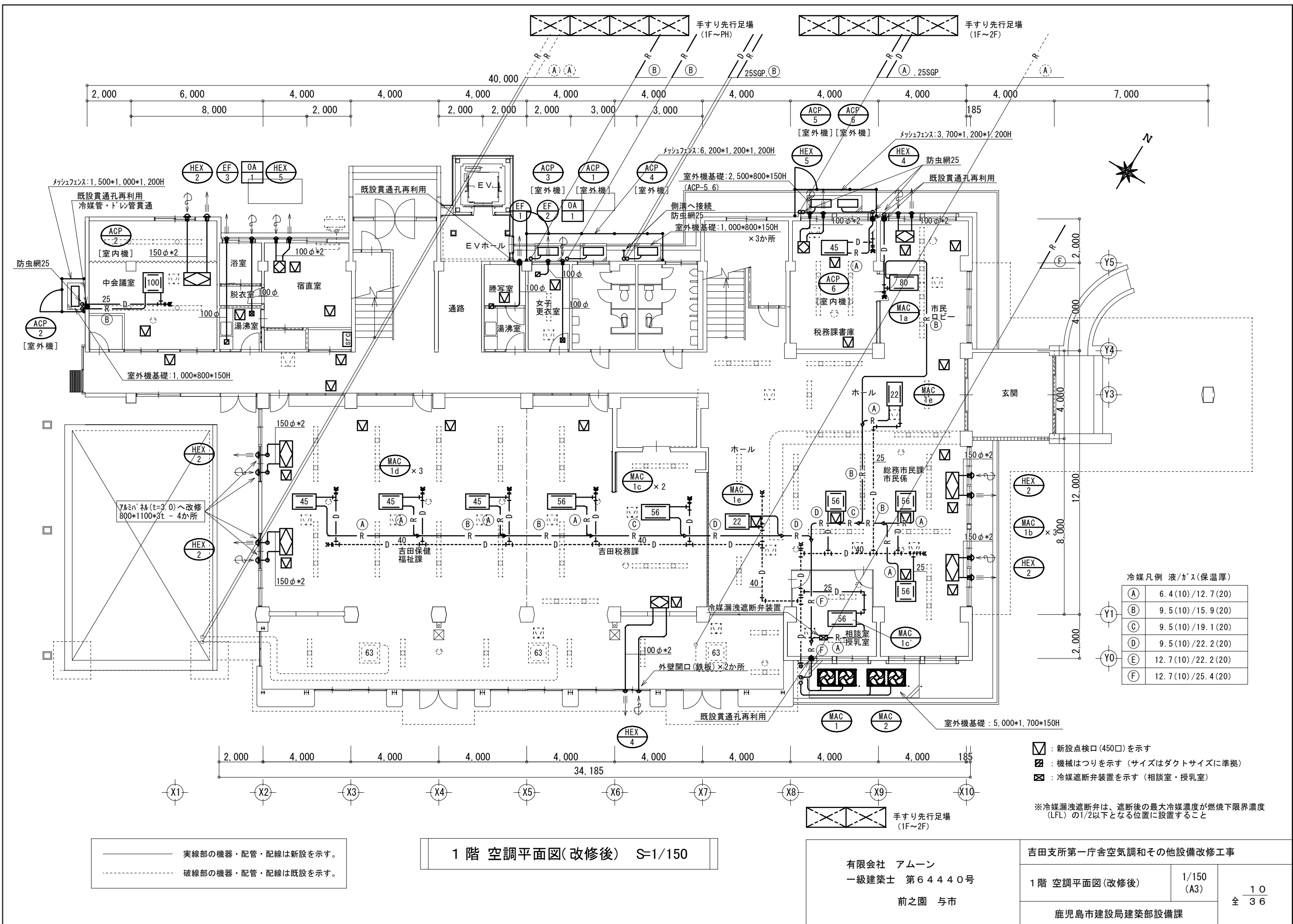
配線凡例表

リモコン線	—//—	EM-CEE1. 25mm2-2C
空調機・全熱交換器制御用配線	—//★—	EM-CEES1. 25mm2-2C
集中リモコン間 (SRC～src) 配線	—//★★—	
空調用リモコン	Ⓡ 又は Ⓡ	メ-カ-標準品
全熱交換器用リモコン	Ⓡ 又は Ⓡ	メ-カ-標準品

有限会社 アムーン  
一級建築士 第64440号  
前之園 与市

吉田支所第一庁舎空気調和その他設備改修工事

空調系統図（改修後）	No. Scale (A3)	09 全 36
鹿児島市建設局建築部設備課		



冷媒凡例 液/ガス(保温厚)	
(A)	6.4(10)/12.7(20)
(B)	9.5(10)/15.9(20)
(C)	9.5(10)/19.1(20)
(D)	9.5(10)/22.2(20)
(E)	12.7(10)/22.2(20)
(F)	12.7(10)/25.4(20)

- ☑ : 新設点検口(450口)を示す
- ☒ : 機械はつりを示す(サイズはダクトサイズに準拠)
- ☒ : 冷媒遮断弁装置を示す(相談室・授乳室)

※冷媒漏洩遮断弁は、遮断後の最大冷媒濃度が燃焼下限界濃度(LFL)の1/2以下となる位置に設置すること

1階 空調平面図(改修後) S=1/150

有限会社 アムーン  
一級建築士 第64440号  
前之園 与市

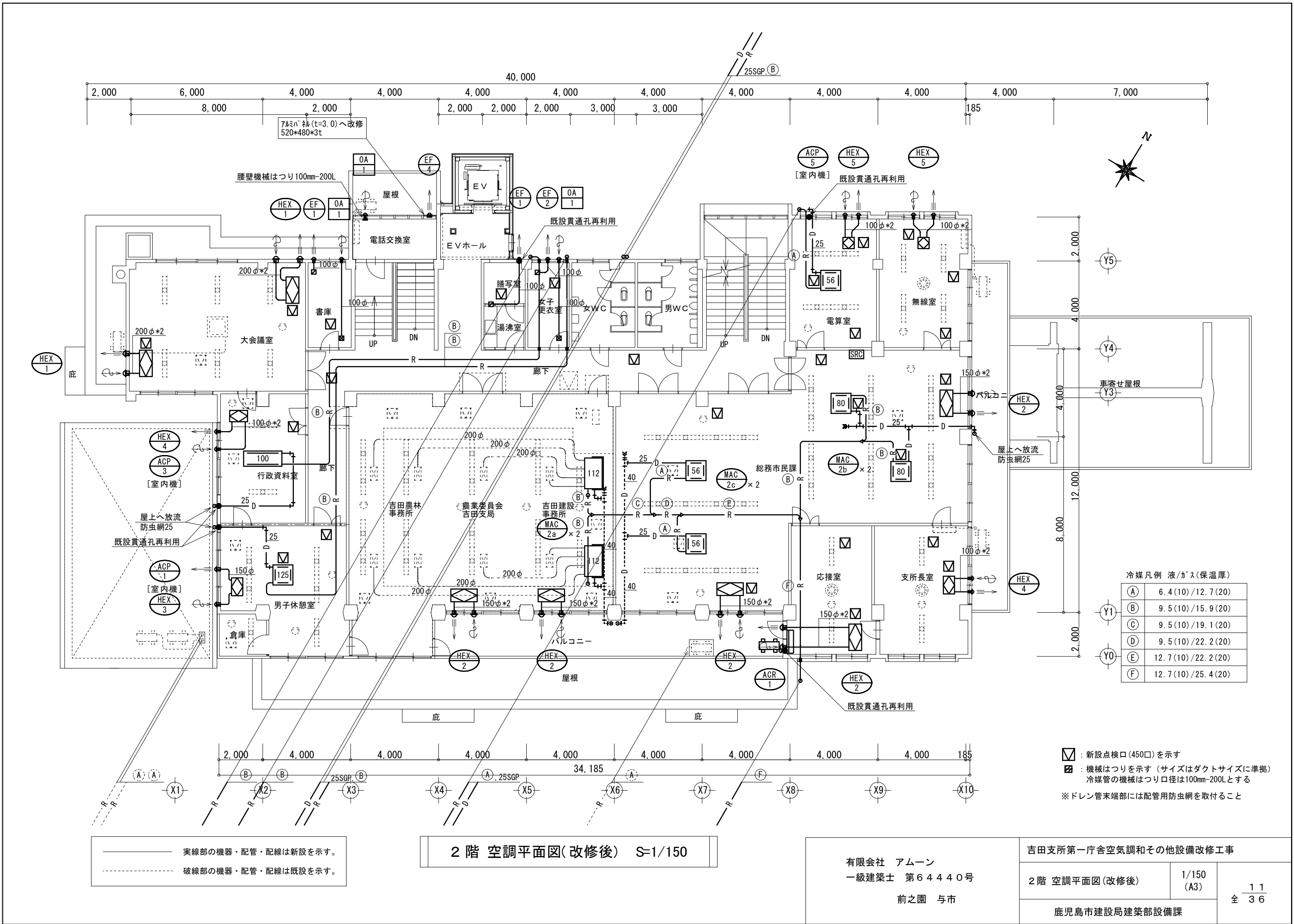
吉田支所第一庁舎空調和其他設備改修工事

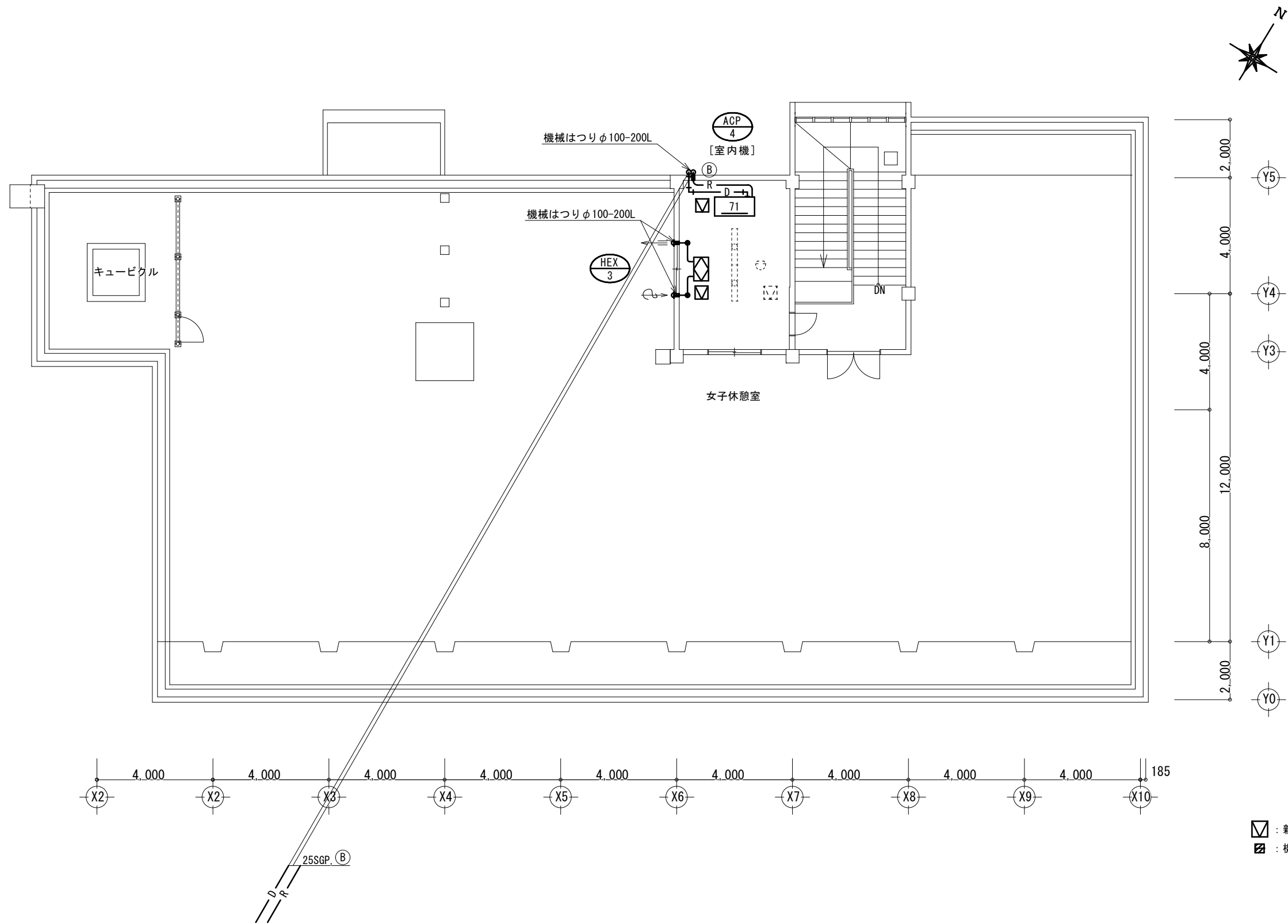
1階 空調平面図(改修後)

1/150  
(A3)

10  
全 36

鹿児島市建設局建築部設備課





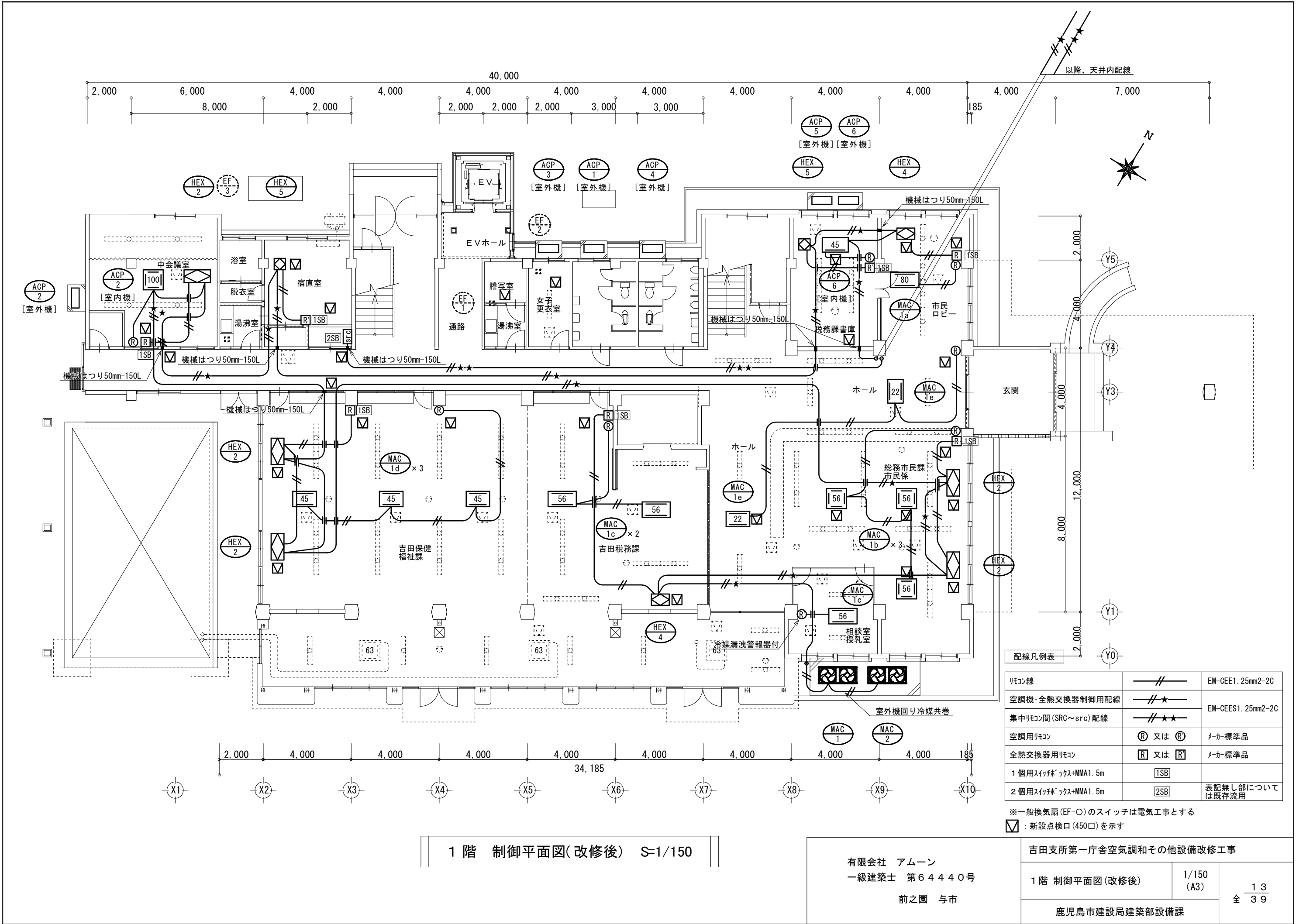
冷媒凡例 液/ガス(保温厚)	
(A)	6.4(10)/12.7(20)
(B)	9.5(10)/15.9(20)
(C)	9.5(10)/19.1(20)
(D)	9.5(10)/22.2(20)
(E)	12.7(10)/22.2(20)
(F)	12.7(10)/25.4(20)

- ☒ : 新設点検口(450口)を示す  
● : 機械はつりを示す(サイズはダクトサイズに準拠)

——— 実線部の機器・配管・配線は新設を示す。  
----- 破線部の機器・配管・配線は既設を示す。

PH階 空調平面図(改修後) S=1/150

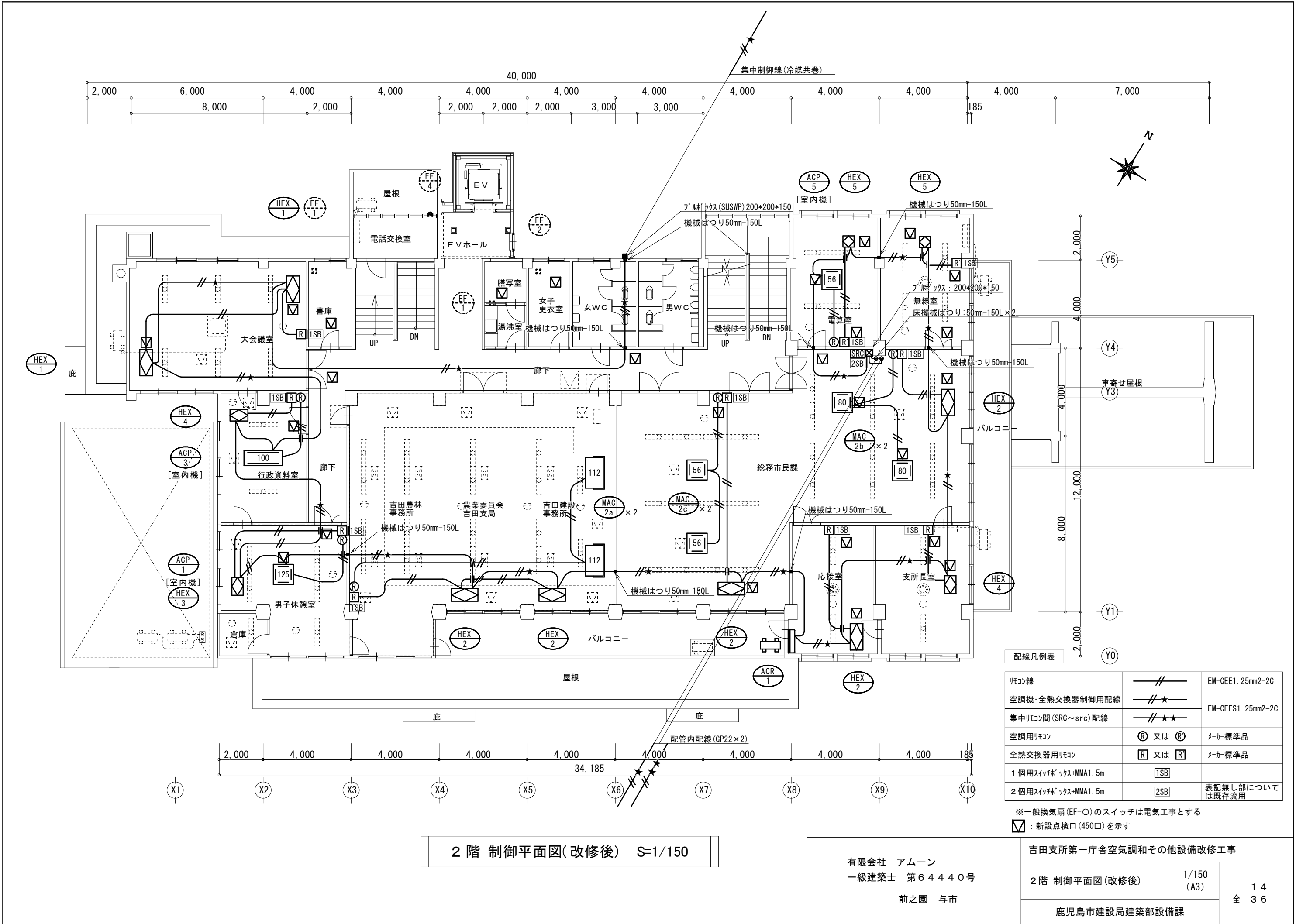
有限会社 アムーン 一級建築士 第64440号 前之園 与市		吉田支所第一庁舎空調和其他設備改修工事	
PH階 空調平面図(改修後)		1/150 (A3)	全 12 36
鹿児島市建設局建築部設備課			



配線凡例表		
リモコン線	—//—	EM-CEE1. 25mm2-2C
空調機・全熱交換器制御用配線	—//★—	EM-CEES1. 25mm2-2C
集中リモコン間 (SRC～src) 配線	—//★★—	
空調用リモコン	Ⓡ または Ⓢ	メーカー標準品
全熱交換器用リモコン	Ⓡ または Ⓢ	メーカー標準品
1 個用スイッチボックス+MMA1. 5m	TSB	
2 個用スイッチボックス+MMA1. 5m	2SB	表記無し部については既存流用

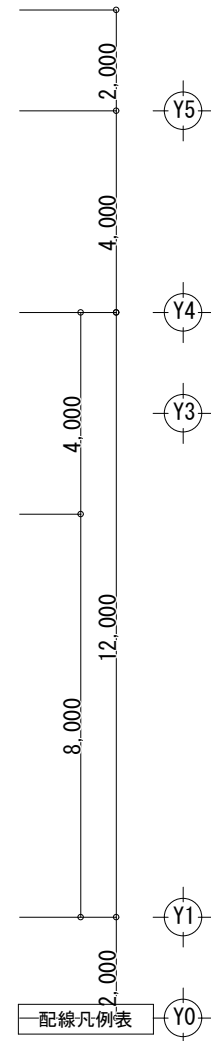
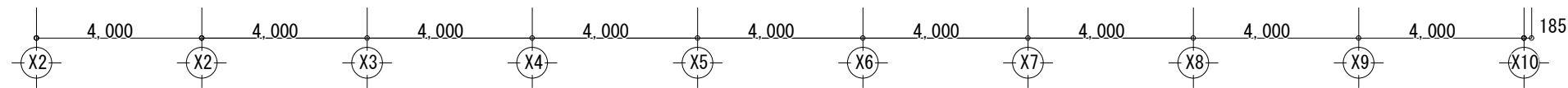
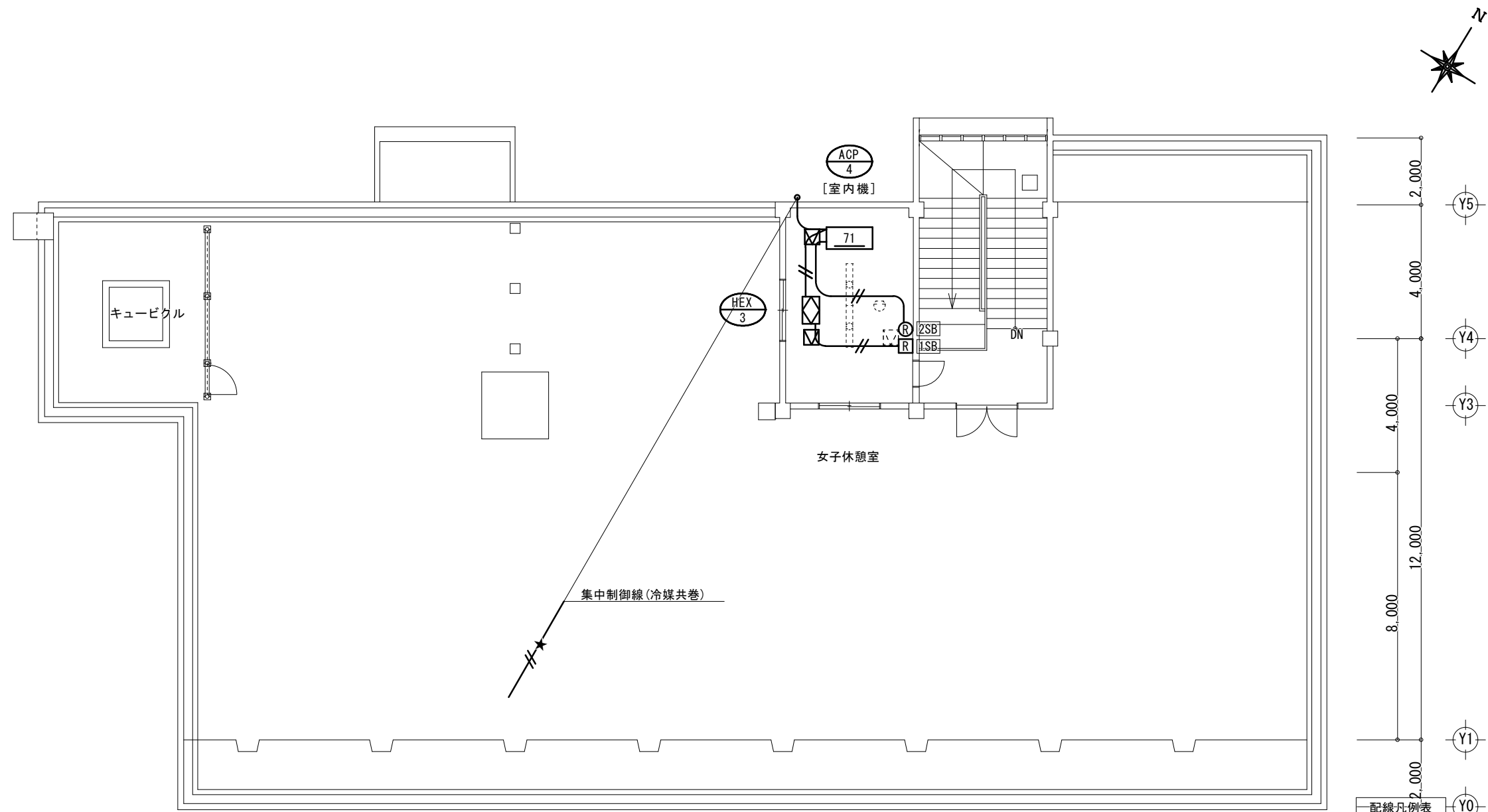
※一般換気扇 (EF-○) のスイッチは電気工事とする  
☑ : 新設点検口 (450口) を示す

1 階 制御平面図(改修後) S=1/150



2階 制御平面図(改修後) S=1/150





リモコン線	—//—	EM-CEE1. 25mm2-2C
空調機・全熱交換器制御用配線	—//★—	EM-CEES1. 25mm2-2C
集中リモコン間 (SRC～src) 配線	—//★★—	
空調用リモコン	Ⓡ または Ⓡ	メーカー標準品
全熱交換器用リモコン	Ⓡ または Ⓡ	メーカー標準品
1 個用スイッチボックス+MMA1. 5m	1SB	
2 個用スイッチボックス+MMA1. 5m	2SB	表記無し部については既存流用

※一般換気扇 (EF-○) のスイッチは電気工事とする  
☑ : 新設点検口 (450□) を示す

PH 階 制御平面図(改修後) S=1/150

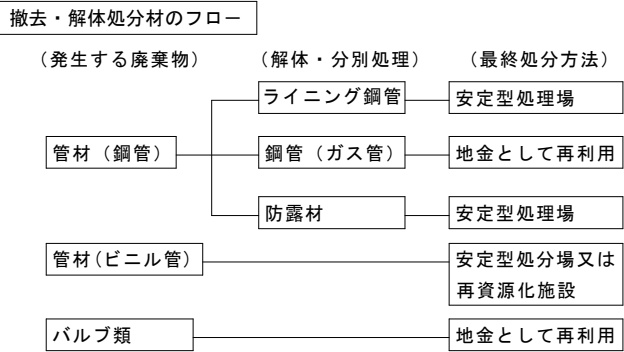
有限会社 アムーン  
一級建築士 第 6 4 4 4 0 号  
前之園 与市

吉田支所第一庁舎空調和其他設備改修工事		
PH階 制御平面図(改修後)	1/150 (A3)	15 全 36
鹿児島市建設局建築部設備課		

撤去機器表

記 号	名 称	仕 様	電 源	数 量	階	部屋 及び 系統名	備 考
AC 1	空冷ヒートポンプマルチエアコン	冷房能力： 35.5 kW    暖房能力： 40.0 kW	3φ200V	1	2	吉田保健福祉課・吉田税務課系統	製品重量：280kg
	室外機						
AC 1a	空冷ヒートポンプマルチエアコン	天井カセット2方向形	1φ200V	4	1	吉田保健福祉課、吉田税務課	
	室内機	冷房能力： 9.0 kW    暖房能力： 10.0 kW					
AC 1b	空冷ヒートポンプマルチエアコン	天井カセット2方向形	1φ200V	1	1	吉田税務課	
	室内機	冷房能力： 3.6 kW    暖房能力： 4.0 kW					
AC 2	空冷ヒートポンプマルチエアコン	冷房能力： 28.0 kW    暖房能力： 31.5 kW	3φ200V	1	2	農林・農業・建設系統	製品重量：240kg
	室外機						
AC 2a	空冷ヒートポンプマルチエアコン	天井ビルトイン形	1φ200V	2	2	吉田農林事務所、農業委員会吉田支局、	
	室内機	冷房能力： 14.0 kW    暖房能力： 16.0 kW				吉田建設事務所	
AC 3	空冷ヒートポンプマルチエアコン	冷房能力： 14.0 kW    暖房能力： 16.0 kW	3φ200V	1	2	ホール系統	製品重量：122kg
	室外機						
AC 3a	空冷ヒートポンプマルチエアコン	天井カセット4方向形	1φ200V	1	1	ホール	
	室内機	冷房能力： 9.0 kW    暖房能力： 10.0 kW					
AC 3b	空冷ヒートポンプマルチエアコン	天井カセット2方向形	1φ200V	1	1	ホール	
	室内機	冷房能力： 3.6 kW    暖房能力： 4.0 kW					
AC 3c	空冷ヒートポンプマルチエアコン	天井カセット2方向形	1φ200V	1	1	ホール	
	室内機	冷房能力： 2.8 kW    暖房能力： 3.2 kW					
AC 4	空冷ヒートポンプマルチエアコン	冷房能力： 14.0 kW    暖房能力： 16.0 kW	3φ200V	1	2	ホール系統	製品重量：122kg
	室外機						
AC 4a	空冷ヒートポンプマルチエアコン	天井カセット4方向形	1φ200V	3	1	総務市民課市民係	
	室内機	冷房能力： 4.5 kW    暖房能力： 5.0 kW					
AC 4b	空冷ヒートポンプマルチエアコン	天井カセット2方向形	1φ200V	1	1	相談室・授乳室	
	室内機	冷房能力： 2.8 kW    暖房能力： 3.2 kW					
AC 5	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット4方向形    ツイン同時	3φ200V	1	2	総務市民課(2)	製品重量：112kg
		冷房能力： 14.0 kW    暖房能力： 16.0 kW					
AC 6	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット4方向形	3φ200V	1	2	総務市民課(1)	製品重量：101kg
		冷房能力： 10.0 kW    暖房能力： 11.2 kW					
AC 7	空冷ヒートポンブルームエアコン	壁掛形	1φ200V	1	2	電算室	製品重量：54kg
		冷房能力： 4.0 kW    暖房能力： 6.0 kW					
AC 8	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット4方向形	3φ200V	1	2	男子休憩室	製品重量：59kg
		冷房能力： 5.0 kW    暖房能力： 5.6 kW					
AC 9	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット2方向形	3φ200V	1	2	行政資料室	製品重量：51kg
		冷房能力： 4.0 kW    暖房能力： 4.5 kW					
AC 9-1	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット2方向形	3φ200V	1	1	税務課書庫	製品重量：51kg
		冷房能力： 4.0 kW    暖房能力： 4.5 kW					
AC 9-2	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット2方向形	3φ200V	1	1	市民ロビー	製品重量：44kg
		冷房能力： 5.6 kW    暖房能力： 6.3 kW					
AC 10	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット4方向形	3φ200V	1	1	中会議室	製品重量：55kg
		冷房能力： 7.1 kW    暖房能力： 8.0 kW					
AC 11	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット4方向形	3φ200V	1	2	電算室	製品重量：45kg
		冷房能力： 5.0 kW    暖房能力： 5.6 kW					
AC 12	空冷ヒートポンブルームエアコン	壁掛形	1φ200V	1	PH	女子休憩室	製品重量：33kg
		冷房能力： 4.0 kW    暖房能力： 4.5 kW					
AC 13	空冷ヒートポンブルームエアコン	壁掛形	1φ100V	1	2	応接室	製品重量：36kg
		冷房能力： 2.2 kW    暖房能力： 3.2 kW					
F 1	天井換気扇	天井埋込形	1φ100V	2	1	湯沸室・謄写室	製品重量：4.5kg
		100 φ × 110 m3/h × 30 Pa			2	湯沸室・謄写室	

既設空調機の撤去・移設等に伴う冷媒の回収・充填を行う際は、  
『フロン排出抑制法』に基づく県への登録を行った『第一種フロン類  
充填回収作業者』による作業とすること。  
各種証明書（行程管理表、回収フロン破壊証明書等）は、完成図書に  
添付して施設管理者に引き渡すこと。  
工事に伴う発生材の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」  
及び「建設リサイクル法」等、関係法規に 基づき適正に処理し、  
マニフェストシステムを適用して管理すること。



有限会社 アムーン  
一級建築士 第64440号  
前之園 与市

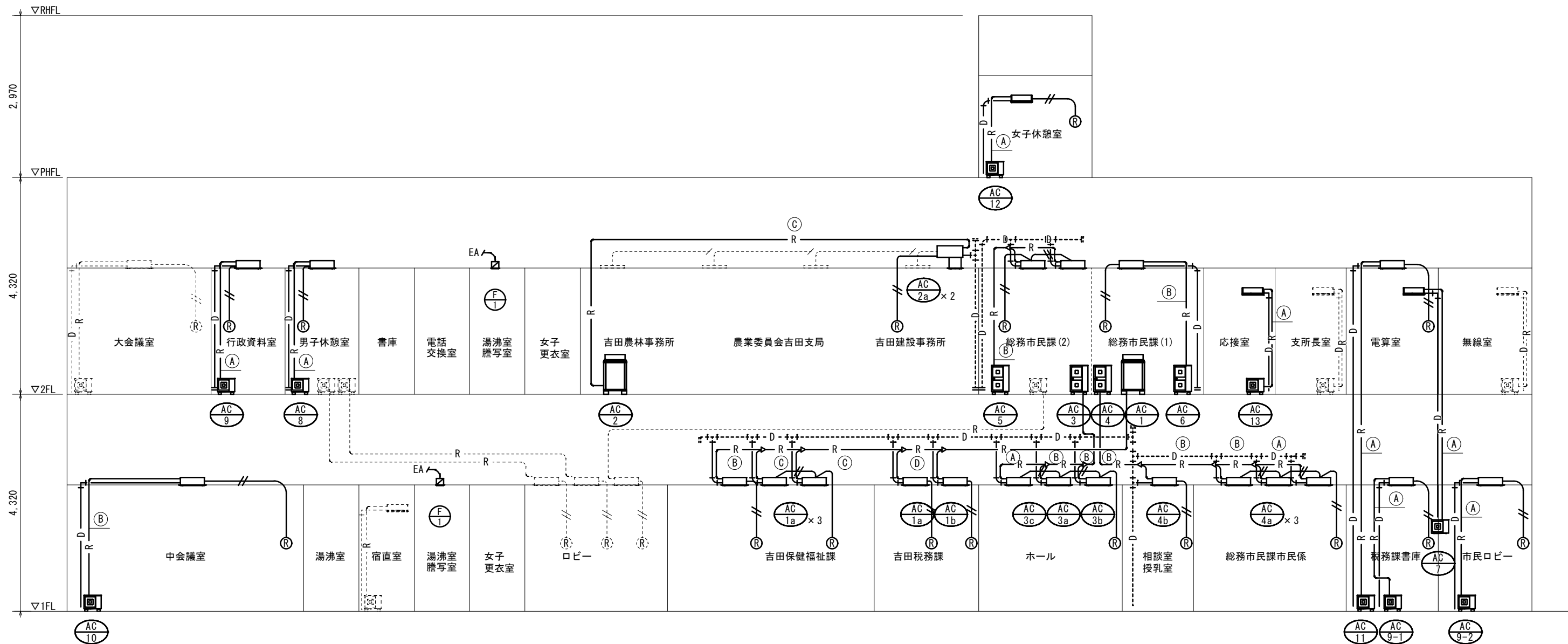
吉田支所第一庁舎空気調和其他設備改修工事

撤去機器表

No. Scale  
(A3)

鹿児島市建設局建築部設備課

1 6  
全 3 6



——— 実線部の機器・配管・配線は撤去を示す。  
----- 破線部の機器・配管・配線は残置を示す。

空調系統図（改修前） S-No. Scale

冷媒凡例 液/ガス(保温厚)

(A)	6.4(8)/12.7(20)
(B)	9.5(8)/15.9(20)
(C)	9.5(8)/22.2(20)
(D)	12.7(10)/25.4(20)

有限会社 アムーン  
一級建築士 第64440号  
前之園 与市

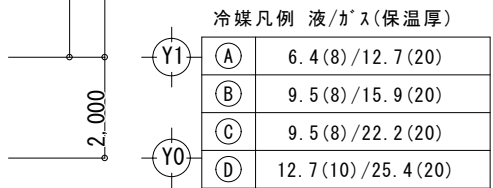
吉田支所第一庁舎空調和其他設備改修工事

空調系統図（改修前）

No. Scale  
(A3)

鹿児島市建設局建築部設備課

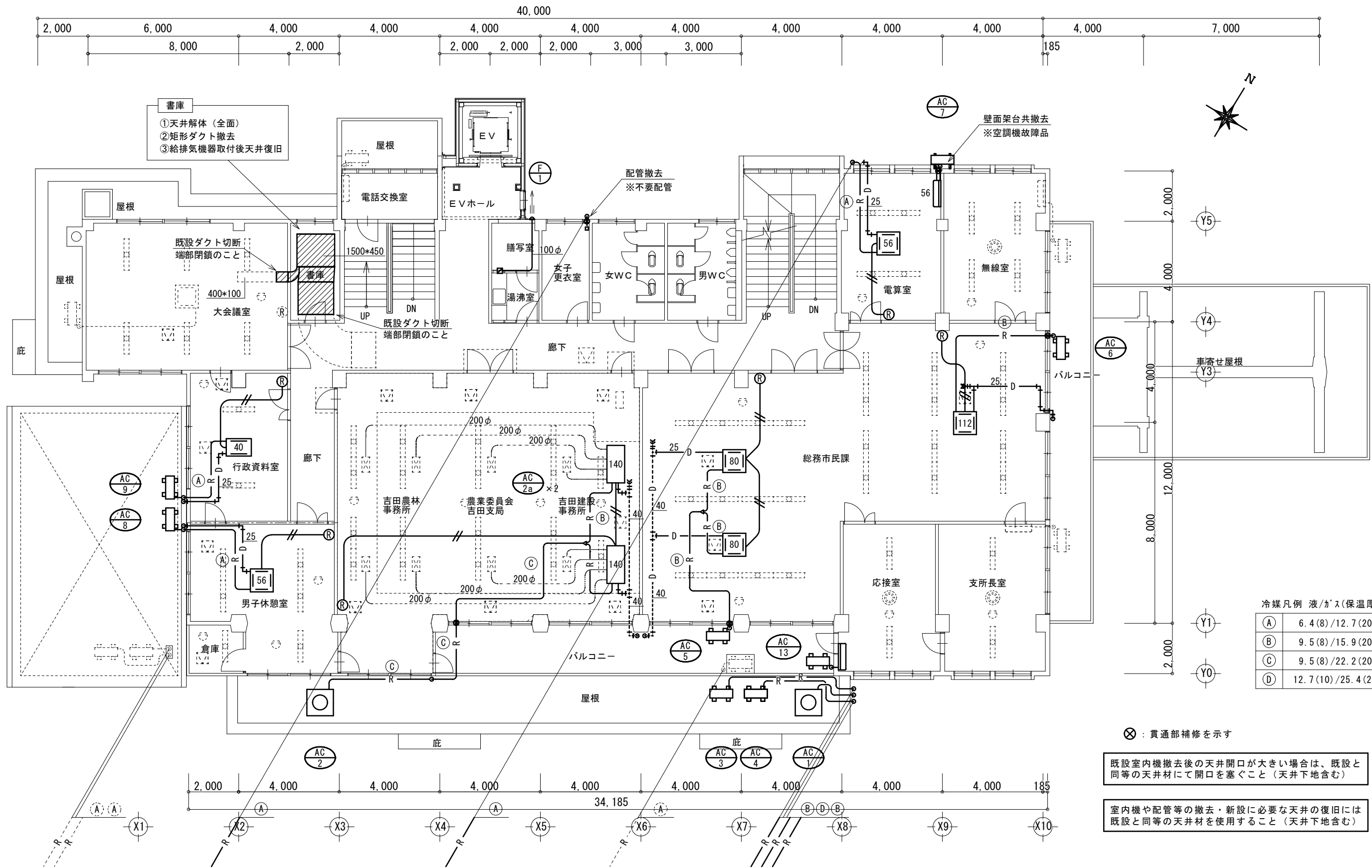
17  
全 36



室内機や配管等の撤去・新設に必要な天井の復旧には既設と同等の天井材を使用すること（天井下地含む）

$$\begin{array}{r} 18 \\ \hline 36 \end{array}$$

鹿児島市建設局建築部設備課



冷媒凡例 液/ガス(保温厚)	
(A)	6.4(8)/12.7(20)
(B)	9.5(8)/15.9(20)
(C)	9.5(8)/22.2(20)
(D)	12.7(10)/25.4(20)

⊗：貫通部補修を示す

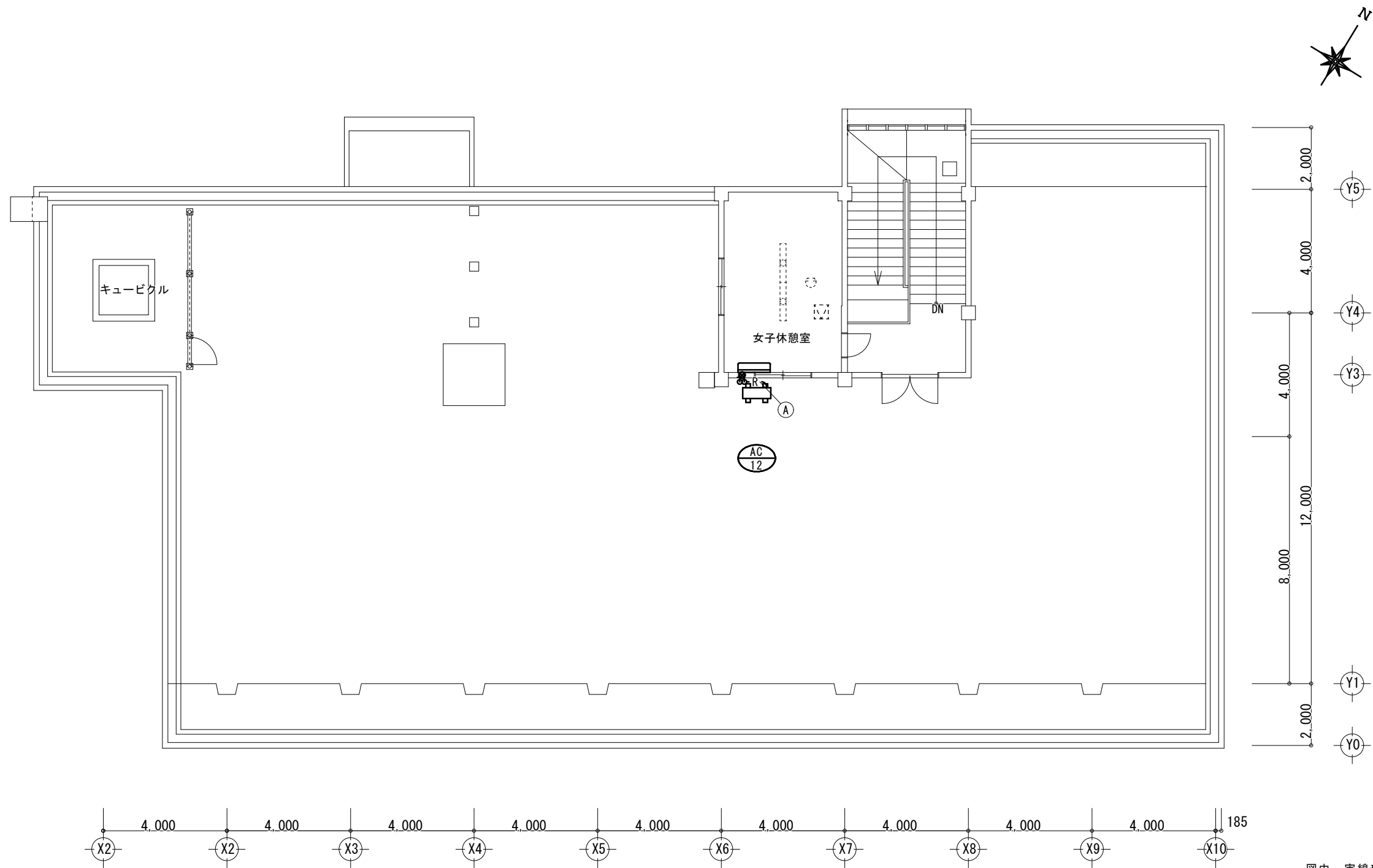
既設室内機撤去後の天井開口が大きい場合は、既設と同等の天井材にて開口を塞ぐこと（天井下地含む）

室内機や配管等の撤去・新設に必要な天井の復旧には既設と同等の天井材を使用すること（天井下地含む）

—— 実線部の機器・配管・配線は撤去を示す。  
- - - 破線部の機器・配管・配線は残置を示す。

2 階 空調平面図(改修前) S=1/150

有限会社 アムーン 一級建築士 第64440号 前之園 与市		吉田支所第一庁舎空気調和その他設備改修工事	
2 階 空調平面図(改修前)	1/150 (A3)	全 19 36	
鹿児島市建設局建築部設備課			



冷媒凡例 液/ガス(保温厚)	
Ⓐ	6.4(8)/12.7(20)
Ⓑ	9.5(8)/15.9(20)
Ⓒ	9.5(8)/22.2(20)
Ⓓ	12.7(10)/25.4(20)

⊗ : 貫通部補修を示す

図中、実線部の配管・配線は全て撤去とする

室内機や配管等の撤去・新設に必要な天井の復旧には  
既設と同等の天井材を使用すること（天井下地含む）

————— 実線部の機器・配管・配線は撤去を示す。  
----- 破線部の機器・配管・配線は残置を示す。

PH階 空調平面図(改修前) S=1/150

有限会社 アムーン 一級建築士 第64440号  前之園 与市	吉田支所第一庁舎空調和其他設備改修工事		
	P H階 空調平面図(改修前)	1/150 (A3)	全 20 36
	鹿児島市建設局建築部設備課		